

プレゼンテーションポイントメーカー

CPN-6000

取扱説明書 Ver.1.2.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft, Windows, および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図とメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

■ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 他の機器との設定をする。

■コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・ シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。



安全上のご注意







本製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く









警告

 禁止	不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。
	振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。
	異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
	電源コード・電源プラグは <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。
 分解禁止	修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整および修理は、弊社営業部までお問い合わせください。
 接触禁止	雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。
 指示	据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。
	電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。
	電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
 プラグを抜く	煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用をすると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、弊社営業部までお問い合わせください。
	落としたり、キャビネットが破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。
	内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。

機器の接続について


 指示	本体と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。
--------	---

⚠ 注意


 禁止	温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。
	湿気・油煙・埃の多い場所に置かない 加湿器のそばや埃の多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。
	通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。
	機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
	本体付属の AC アダプタまたは電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは電源コードは 100 V 系国内専用です。海外など 200 V 系でご使用になる場合は、弊社営業部までお問い合わせください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。
 プラグを抜く	他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。
 プラグを抜く	長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。

設置についてのお願い


● ラックマウント製品の場合

 指示	EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質を平均的に支えるようにしてください。
--	---

● ゴム足付きの製品の場合

 指示	ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とネジ以外は使用しないでください。
--	--

● 海拔について

 指示	海拔 2,000 m 以上の場所に設置しないでください。 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
--	---

目次

目次.....	7
1. 同梱物の確認.....	10
2. 製品概要.....	11
3. 特長.....	12
4. 各部の名称とはたらき.....	13
4.1 フロントパネル.....	13
4.2 リアパネル.....	14
5. 外部機器との接続.....	15
5.1 機器の接続.....	15
5.1.1 映像音声の入出力接続例.....	15
5.1.2 描画・制御デバイスの接続例.....	16
6. 基本操作.....	17
6.1 起動方法.....	17
6.2 終了方法.....	17
7. キャリブレーション.....	18
7.1 キャリブレーションの方法.....	18
8. 各種デバイス.....	19
8.1 マウス操作方法.....	19
8.2 ペン操作方法.....	20
8.3 キーボード操作方法.....	21
9. 基本操作.....	23
9.1 メニュー移動.....	24
9.2 自由描画.....	24
9.3 図形描画.....	25
9.4 消しゴム.....	26
9.5 ポインタ種類.....	27
9.6 映像入力選択.....	27
9.7 メニュー.....	28
9.8 線色.....	28
9.9 線幅.....	29
9.10 全消去.....	30
9.11 映像静止.....	30
9.12 画像保存.....	30
10. メインメニュー.....	31
10.1 基本設定.....	33
10.1.1 ポインタ.....	34
10.1.2 消しゴム.....	35
10.1.3 線幅.....	35
10.1.4 カラーパレット.....	36
10.1.5 オーバーレイ ブライトネス.....	37
10.2 表示設定.....	38
10.2.1 映像入力.....	39
10.2.2 映像出力.....	40
10.2.3 EDID.....	41
10.2.4 HDCP 出力設定.....	42
10.2.5 音声選択.....	46
10.2.6 タッチエリア設定.....	47

10.2.7	ツールバー設定	49
10.2.8	言語	50
10.2.9	システム情報	50
10.3	キャプチャ設定	51
10.3.1	ファイル設定	52
10.3.2	Encoder	53
10.4	デバイス設定	54
10.4.1	キャリブレーション	55
10.4.1.1	タッチ スクリーンキャリブレーション	56
10.4.2	シリアルポート	57
10.4.2.1	シリアルポート設定	58
10.4.3	USB ポート	58
10.4.3.1	デバイス選択画面	59
10.4.4	Power Cycle	59
10.5	ネットワーク設定	60
10.5.1	セットアップ 1	61
10.5.2	セットアップ 2	62
10.5.3	プリンター	63
10.5.4	マルチポイント	63
10.5.4.1	マルチポイント接続	64
10.5.5	TFTP	65
10.6	アップデート	65
10.7	終了	65
11.	機能説明	66
11.1	オーバーレイ	66
11.2	静止	67
11.3	描画画像の保存 / 読み込み	68
11.3.1	画像保存及び接続方法	68
11.3.2	画像保存手順	69
11.3.3	画像読み込み手順	71
11.3.4	画像読み込み解除手順	72
11.4	描画画像のプリント	73
11.4.1	プリンターとの接続方法	73
11.4.2	描画画像のプリント手順	74
11.5	PVI Control (iPad 描画)	75
11.5.1	PVI Control について	75
11.5.1.1	メニュー表示	77
11.5.1.2	描画設定	77
11.5.1.3	取消	79
11.5.1.4	全消去	79
11.5.1.5	コントロールパネル	80
11.5.1.6	背景設定	83
11.5.1.7	保存	85
11.5.1.8	画像共有	85
11.5.1.9	接続設定	86
11.5.1.10	描画共有設定	86
11.5.1.11	ヘルプ	87
11.5.1.12	ドキュメント登録	88
11.5.2	PVI Control アプリケーション	88
11.5.2.1	CPN-6000 との接続	88

11.5.2.2.	PVI 画面背景共有	90
11.5.2.3.	CPN-6000 出力映像キャプチャ・表示	92
11.5.2.4.	CPN-6000 出力映像ストリーミング	93
11.6	初期化	94
12.	製品仕様	95
13.	正常に動作しないときは	96

1. 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

- ・ CPN-6000 本体 … 1 台
- ・ 取扱説明書（本書） … 1 冊
- ・ 専用 AC アダプタ … 1 台

2. 製品概要

CPN-6000 (以下、「本機」とする) は、HDMI および DVI の HDCP に対応した映像入力に描画可能なデジタルポイントメーカーです。ペンタブレット、マウスから描画線の種類 (細・中・太)、線色 (7 色) を選んで描画可能です。また、描画した画像は、USB メモリとネットワーク (TFTP) 経由でパソコンへ、ビットマップファイル形式で保存が可能です。通信は RS-232C、LAN に対応しています。

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	J	F	A	M	J	J	A	S	Total	Projected	
2	8.25	26.50	78.75	36.50	23.25	19.75	32.25	8.50	0.00	221.75	644.00
3	29.50	16.00	0.50	27.25	33.25	21.25	0.00	44.75	3.00	172.50	332.00
4	26.75	50.00	12.75	19.50	0.00	2.00	0.50	28.50	0.00	140.00	212.00
5	19.50	8.00	11.00	19.75	26.50	22.75	3.00	20.25	0.00	130.75	303.00
6	2.25	0.50	4.50	1.00	0.50	9.00	4.50	0.00	0.00	22.25	40.00
7	17.50	14.00	2.00	25.00	18.25	0.50	2.50	13.00	0.00	104.25	260.00
8	7.00	3.75	3.00	0.00	23.75	4.75	2.50	5.75	0.00	73.00	62.00
9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	1.50	40.00
10	1.00	0.00	2.50	3.00	0.75	5.50	13.00	7.50	0.00	38.25	86.00
11	5.00	10.25	2.75	19.50	13.25	2.50	1.50	4.25	0.00	59.50	80.00
12	33.00	15.75	28.75	14.50	13.75	19.50	56.75	36.00	0.00	218.00	351.00
13	0.00	1.00	0.00	3.25	0.00	11.00	33.25	4.00	0.00	56.50	1.00
14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00	2.50	1.00
15	1.75	4.50	0.75	4.50	0.75	12.50	1.50	2.75	0.00	29.00	15.00
16	12.00	0.00	3.50	3.00	3.75	3.00	2.50	2.00	0.00	29.75	14.00
17	163.50	157.75	151.50	174.00	163.75	155.50	157.75	175.75	0.00	1299.50	2341.00
18											

[図 2-1] 描画サンプル

◆ HDCP とは

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) : デジタル映像信号に対する著作権保護技術です。

3. 特長

本機の特長は以下のとおりです。

【描画機能】

- ・ 自由描画
- ・ 図形描画
- ・ 7色の描画色
- ・ 3種類以上(細・中・太)の描画線表示

【描画デバイス】

- ・ ペンタブレット
- ・ マウス

【映像】

- ・ 最大対応解像度 1920×1200
- ・ HDCP 対応
- ・ 最大9入力アナログ入力にも対応したスケーリング機能

【制御】

- ・ USB2.0
- ・ LAN
- ・ RS-232C

【その他】

- ・ オンスクリーン日本語メニューによる簡単操作
- ・ 描画画像を USB メモリとネットワーク (TFTP) 経由でビットマップファイルで保存※2
- ・ PostScript 対応プリンターを用いて PC なしで印刷可能
- ・ タブレット・タッチスクリーン、マウスからの描画が可能
- ・ フリーアプリケーションを利用した iPad からの描画が可能

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

4. 各部の名称とはたらき

4.1 フロントパネル

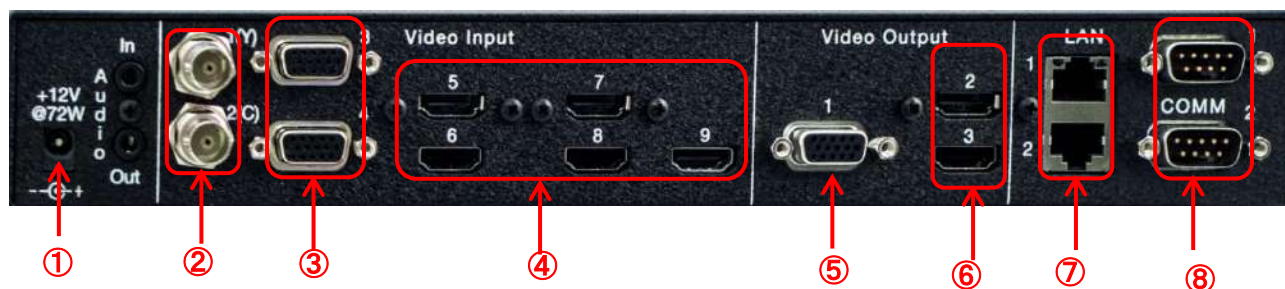


[図 4-1] フロントパネルの外観図

[表 4.1] フロントパネルの各名称の説明

番号	名称	説明
①	電源スイッチ	本機の電源を ON / OFF します。電源スイッチを「ON」にすると、「CPN-6000」のロゴ画面が表示されます。起動から約 110 秒後、本機の操作が可能となります。
②	USB コネクタ	USB インターフェースのペンタレット、マウス、キーボードおよび USB メモリを接続します。

4.2 リアパネル



[図 4-2] リアパネルの外観図

[表 4.2] リアパネルの各名称の説明

番号	名称	説明
①	電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
②	ビデオ入力コネクタ	コンポジット信号の入力コネクタです。
③	VGA 入力コネクタ	VGA 信号の入力コネクタです。
④	HDMI 入力コネクタ※ ¹	HDMI と DVI 信号の入力コネクタです。 ブルーレイディスクプレーヤーなどのソース機器と接続します。
⑤	VGA 出力コネクタ	VGA 出力コネクタです。HDCP 非対応となります。
⑥	HDMI 出力コネクタ※ ¹	HDMI と DVI 信号の出力コネクタです。 液晶モニタ、プロジェクターなどのシンク機器と接続します。
⑦	LAN コネクタ	TFTP によるファイル保存を行うときに使用します。本機の画像をネットワーク経由でパソコンに取り込むことができます。また、本機を通信コマンドによる外部制御をするときに使用します。
⑧	RS-232C コネクタ	通信コマンドによる外部制御をするときに使用します。また、RS-232C の制御のタブレットを接続するときに使用します※ ² 。

※¹ 本機の HDMI 入力コネクタと HDMI 出力コネクタは、HDCP に対応しています。HDCP はデータの暗号化と接続機器との認証からなるコピープロテクション技術です。著作権保護されたブルーレイディスクプレーヤーなどのソース機器と、出力コネクタに接続するシンク機器の両方が HDCP に対応している必要があります。

※² RS-232C コネクタを用いてタブレットを使用する場合は、事前に動作確認を行ってください。

5. 外部機器との接続

5.1 機器の接続

本機は様々な種類の機器と接続することが可能です。
用途に合わせてソース機器、シンク機器を接続してください。

5.1.1 映像音声の入出力接続例

ソース機器、シンク機器のみの接続例です。



[図 5-1] ソース機器とシンク機器を接続したときの接続例

5.1.2 描画・制御デバイスの接続例

描画・制御デバイスの接続例です。接続には USB コネクタを使用します。USBHub を利用することで最大 10 台までデバイスを接続することができます。

【注意】描画・制御デバイスは複数同時接続できますが、同時に使用することはできません。
例：キーボードで操作中にペンタブレットは使用できません。

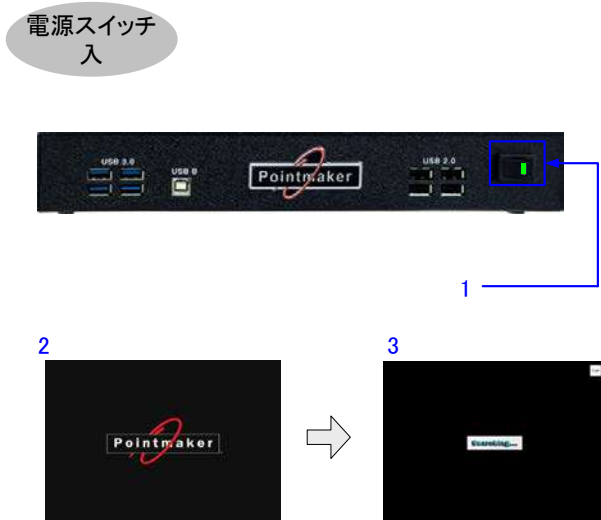


[図 5-2] 制御デバイスと接続したときの接続例

6. 基本操作

6.1 起動方法

電源投入は以下の方法で行ってください。



[図 6-1] 電源投入手順

設定手順

- 1 本機のフロントにある「POWER」スイッチを「ON」にします。
- 2 CPN-6000 のロゴ画面が表示されます。電源 ON から約 110 秒後、本機
の操作が可能となります。
- 3 映像が未入力の場合は「Searching...」の画面が表示されます。

6.2 終了方法

終了時は、手順は以下の方法で行ってください。



[図 6-2] 電源切断手順

設定手順

- 1 本体のフロントにある「POWER」スイッチを「OFF」にします。

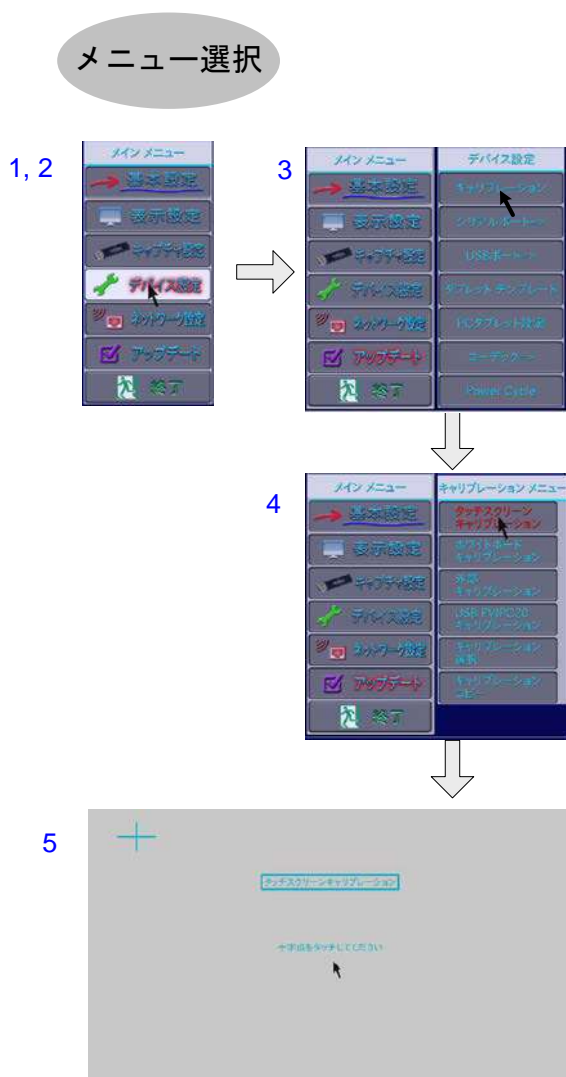
7. キャリブレーション

7.1 キャリブレーションの方法

キャリブレーションは、ペンタブレット上でタッチした場所と画面上の位置データを合わせるために行います。キャリブレーションを行わないと、画面にタッチしても正常に反応しない場合があります。

※ 初期設定時は必ずキャリブレーションを行ってください。

また、設定時にキーボードやマウスを使用しますので、上記のデバイスを接続した状態で下記のように設定してください。



[図 7-1] キャリブレーション手順

設定手順

- 1 キーボードもしくはマウスでメインメニューを開きます。
 ※ メニューは下記「1-a」及び「1-b」を行うことで、画面左上に表示されます。

 1-a 「マウスの場合」
 マウスの右ボタンを押しながらマウス左ボタンを押し続けます。

 1-b 「キーボードの場合」
 キーボード上の[Print Screen]([PrtScn])ボタンを押してください。

 2 「メインメニュー」から「デバイス設定」を選択します。

 3 「デバイス設定」から「キャリブレーション」を選択します。

 4 「キャリブレーション メニュー」から「タッチスクリーン キャリブレーション」を選択します。

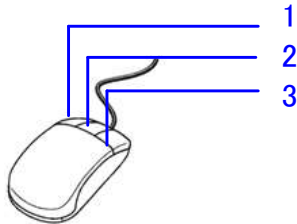
 5 画面に十字アイコンが表示されますので、交差部分(中心)をペンでタッチします。この動作を 12 点分繰り返すとキャリブレーションが完了します。

8. 各種デバイス

8.1 マウス操作方法

USB マウスを使用して描画や各種設定を行うことができます。

マウス操作



各部称

1	左ボタン
2	中央ボタン
3	右ボタン

[図 8-1] マウス操作

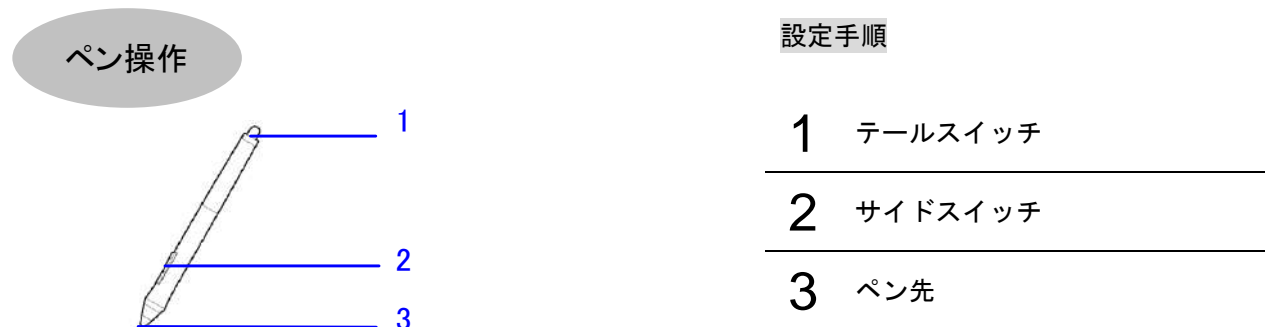
[表 8.1] マウス操作

メニュー	操作説明
全消去	右ボタンを長押しします。
線色選択	右ボタンを押しながら左ボタンをクリックするたびに、線色が順番に切り換わり、選択した色が一瞬画面の右下に表示されます。目的の色が表示されたら、右ボタンを離します。 ※ ツールバーメニューの 線色(P.28)アイコンから線色を選択した場合、マウスとペンの描画色は同じになります。マウスとペンの描画色を別にしたい場合、上記の動作を行うと、マウスとペンは別々の色で描画することが可能になります。
自由描画	左ボタンを押しながらマウスを動かします。左ボタンを離れた場所まで描画されます。
選択	ツールバーメニューやメインメニューのアイコン上で左ボタンを押します。
メインメニュー表示	右ボタンを押しながら左ボタンを長押しします。 ※ 本機のセットアップ以外では使用しないでください。
取消	右ボタンをクリックします。

※ 右ボタンの代わりに中央ボタンでも同様の操作を行うことができます。

8.2 ペン操作方法

ペンを使用して描画や各種設定を行うことができます。



[図 8-2] ペン操作

[表 8.2] ペン操作

メニュー	操作説明
全消去	サイドスイッチを長押しします。 ※ ペン先をタッチさせる必要はありません。
線色選択	サイドスイッチを押しながらペン先をタッチするたびに、線色が順番に切り換わり、選択した色が一瞬画面の右下に表示されます。目的の色が表示されたら、サイドスイッチを離します。 ※ ツールバーメニューの線色(P.28)アイコンから線色を選択した場合、ペンとマウスの描画色は同じになります。ペンとマウスの描画色を別にしたい場合、上記の動作を行うとペンとマウスは別々の色で描画することが可能になります。
自由描画	ペン先をタッチしながらペンを動かします。ペン先を離れた場所まで描画されます。
選択	ツールバーメニューやメインメニューのアイコン上にペン先をタッチします。
メインメニュー表示	サイドスイッチを押しながらペン先を長押し(タッチ)します。 ※ 本機のセットアップ以外では使用しないでください。
取消	サイドスイッチをクリックします。 ※ ペン先をタッチさせる必要はありません。

※ ペン先の代わりにテールスイッチをタッチすることでも同様の操作を行うことができます。

※ タッチとは、ペン先またはテールスイッチがタブレットに触れる操作を示します。

【注意】 使用するペンや液晶タブレットによっては上記の動作をしない場合があります。

8.3 キーボード操作方法

キーボードを使用し、本機の設定を変更することができます。
使用方法、ショートカットキーの設定は以下を参照してください。

[表 8.3] ショートカットキー

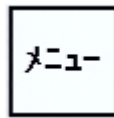
コマンド	キー	動作説明
ポインタ選択	[F1]	キーを押すたびにポインタが順番に切り換わります。
図形描画 図形種類選択 ^{※1}	[F3]	図形描画を選択します。キーを押すたびに描画する図形が切り換わります。四角形(塗りつぶしあり/なし)、円(塗りつぶしあり/なし)が選択できます。
図形描画 サイズ選択 ^{※1}	[F4]	図形種類選択中にキーを押すと図形描画のサイズを選択できます。「矢印」キーで図形描画のサイズを変更できます。
直線描画 ^{※1}	[F5]	直線を描画します。直線の始点と終点を選択し、その間に線が引かれます。
テキスト描画 ^{※1※2}	英数字キー	テキストを描画します。
テキスト入力 フォント選択 ^{※1}	[F6]	描画するテキストのフォントを選択します。キーを押すたびにフォントが変わります。
テキスト入力 フォントサイズ選択 ^{※1}	[Ctrl] + [F6]	描画するテキストのフォントサイズを選択します。キーを押すたびにフォントサイズが変わります。
テキストバックカラー ^{※1}	[F7]	テキストのバックカラー(青色)を表示 / 非表示を切り換えます。
線色変更 ^{※3}	[F9]	キーを押すたびに接続されている全てのデバイスの線色が順番に切り換わります。
全消去	[End]	現在、描画されている内容を全部消去します。 9.10 全消去 (P.30)
取消 (Undo)	[Delete]	描画や消去などの直前の操作を取り消します。 9.4 消しゴム (P.26)
描画	[Enter]	図形やテキストを描画します。何も選択していない場合はポインタを描画します。
描画位置の移動	矢印キー	描画位置を移動します。
オーバーレイ ブライトネス	[F10]	オーバーレイのブライトネスを変更します。 10.1.5 オーバーレイ ブライトネス (P.37)
オーバーレイ 表示切り換え	[F12]	オーバーレイ(描画内容、ツールバー等)の表示 / 非表示を切り換えます。
静止	[Alt] + [F1]	映像を静止します。 11.2 静止 (P.67)
USB メモリへの画像保存	[Alt] + [F2]	USB メモリへ画像を保存します。 11.3 描画画像の保存 / 読み込み (P.68)
USB メモリからの画像読み込み	[Alt] + [F3]	USB メモリから画像を読み込みます。 11.3 描画画像の保存 / 読み込み (P.68)
ポインタ 表示切り換え	[Home]	ポインタの表示 / 非表示を切り換えます。
次のオーバーレイに移動	[Page Down]	次のオーバーレイに移動します。 11.1 オーバーレイ (P.66)

コマンド	キー	動作説明
前のオーバーレイに移動	[Page Up]	前のオーバーレイに移動します。 11.1 オーバーレイ (P.66)
メインメニュー表示	[Print Screen] ([PrtScn])	メインメニューを表示します。 10 メインメニュー (P.31)
再起動	[Ctrl] + [Alt] + [Del]	本機を再起動します。
初期化	[Ctrl] + [Alt] + [End]	本機の初期化を行います。 11.6 初期化 (P.94)

- ※1 この機能はキーボードを用いた描画となります。キーボードで設定し、マウスなどの他のデバイスで描画することはできませんのでご注意ください。
- ※2 入力できるのは英数字と記号のみとなっております。日本語入力には対応しておりませんのでご注意ください。
- ※3 本機は接続するデバイス毎に線色が設定されます。そのため、キーボードで変更した線色と他のデバイスの線色が異なる場合があります。その場合は、**9.8 線色** (P.28)を参考にして、デバイスとキーボードの線色を同じにしてください。

9. 基本操作

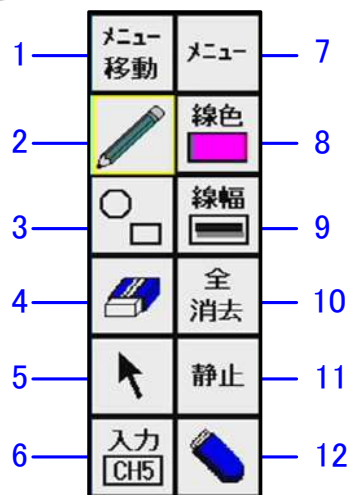
電源を起動し、本機が操作可能になると出力映像右上に「メニュー」アイコンが表示されます。



[図 9-1] 「メニュー」アイコン

上図の「メニュー」を選択すると、下図の「ツールバーメニュー」が表示されます。ここで、各種操作を行います。

ツールバーメニュー



[図 9-2] ツールバーメニュー

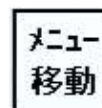
メニュー項目

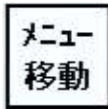
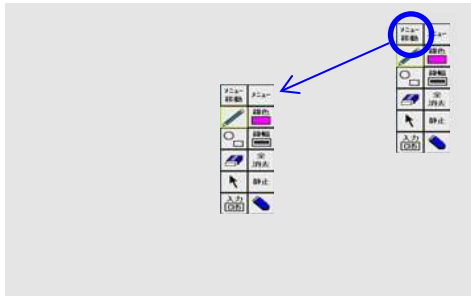
説明

メニュー項目	説明
1	ツールバーメニューの表示位置を移動することができます。
2	自由に描画することができます。
3	図形(直線・四角形・円)を描画することができます。
4	描画した内容の消去と操作の取り消しができます。
5	ポインタの種類を変更することができます。
6	入力チャンネルを選択することができます。
7	ツールバーメニューを表示・非表示に切り換えます。
8	描画時の色を設定できます。
9	描画時の線の太さを設定することができます。
10	全ての描画内容を消去します。
11	映像をキャプチャすることができます。
12	キャプチャした映像を本体に接続された USB に保存することができます。

9.1 メニュー移動

「メニュー移動」は、好きな場所にメニューを移動させます。





番号	手順	アイコン	使用例
1	「メニュー移動」アイコンをペンでタッチし、タッチしたままペンを動かすとメニューが移動します。		<p>ツールバーを右上から真中に移動</p> 

- ※ メニュー移動時は現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。
- ※ メニュー移動後に現在の描画内容の再描画を行います。
- ※ マウスの場合は、タッチの代わりに左クリックし、ドラッグすることで、同様の動作を行います。

9.2 自由描画

「自由描画」は画面に自由に描画できます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「自由描画」アイコンを選択し、描画を行います。ペンで画面の好きな位置にタッチし、そのままペンを動かすと描画を行います。		<p>「TEST」を描画</p> 

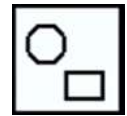
- ※ マウスの場合は、タッチの代わりに左クリックし、ドラッグすることで、同様の動作を行います。

9.3 図形描画

画面上に、四角形・円・直線を描画します。

「図形描画」アイコンを選択するとサブメニューが表示されます。

描画したい図形を選択してください。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「図形描画」アイコンを選択します。		
2	<p>サブメニューが表示されますので、「直線」「円」「四角形」の3つの描画モードを選択し、描画します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線の描画方法 <ol style="list-style-type: none"> a. 直線の開始点をペンでタッチします。 b. タッチした状態で直線を伸ばしたい方向にペンを移動させます。 c. ペンを離すと離れた点と開始点を結ぶ直線が描画されます。 ・円の描画方法 <ol style="list-style-type: none"> a. 円を描く際の最も左かつ最も上の点をペンでタッチします（描きたい円を囲む四角形の左上の頂点となります）。 b. タッチしたままでペンを動かして大きさや形を調整してください。 c. ペンを離すと描画されます。 ・四角形の描画方法 <ol style="list-style-type: none"> a. 図形の左上をペンでタッチします。 b. タッチしたままでペンを動かして大きさや形を調整してください。 c. ペンを離すと描画されます。 		<p>直線を描画する。</p> <p>円を描画する。</p> <p>四角形を描画する。</p>

※ マウスの場合は、タッチの代わりに左クリックし、ドラッグすることで、同様の動作を行います。

【注意】サブメニューを閉じたときに、現在の設定や描画内容は保存され、次回起動時に反映されます。以降に説明するツールバーの機能でサブメニューがあるものは同様の動作を行います。



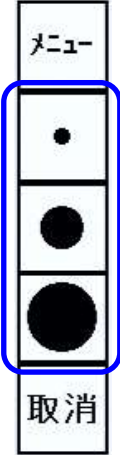

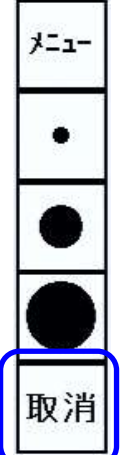


9.4 消しゴム

描画した部分を削除します。また、消去してしまった描画部分の取消しを行います。

「消しゴム」アイコンを選択すると、サブメニューが表示されます。

消しゴムの大きさを選択し、描画部を消去してください。



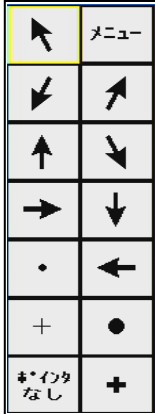
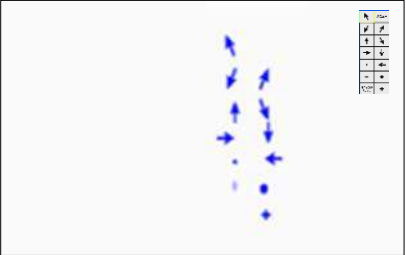


番号	手順	アイコン	使用例
1	消しゴムアイコンを選択します。		
2	サブメニューが表示されますので、「小」「中」「大」から、消しゴムの大きさを選択します。消去したい部分をなぞると、なぞった部分が消去されます。		
3	“取消”アイコンを選択すると、図形の描画や消去などの直前の操作を取り消すことができます。		<p>取消前</p>  <p>取消後</p> 

【注意】消しゴムを使用しても、入力された映像を消去することはできません。



9.5 ポインタ種類


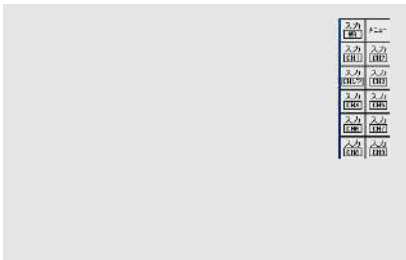
ポインタの種類を変更することができます。

番号	手順	アイコン	使用例
1	「ポインタ種類」アイコンを選択します。		
2	サブメニューが表示されますので、ポインタの種類を選択し、描画します。		

9.6 映像入力選択

入力チャンネルを選択することが出します。

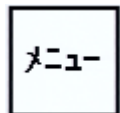
番号	手順	アイコン	使用例
1	「入力」のアイコンを選択します。		

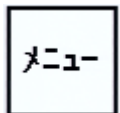
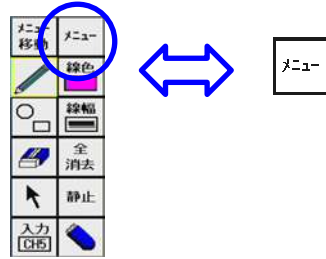
2	サブメニューが表示されますので、映像入力またはホワイトボードを選択してください。選択した映像ソースが表示されます。		
---	---	---	---

9.7 メニュー

メニューを表示 / 非表示を切り換えます。

使用環境に合わせて、メニューを一覧で表示するか、「メニュー」アイコンのみを表示するかを設定できます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	メニューアイコンを選択します。メニューアイコンのみ表示されている場合は、メニューを一覧で表示するように切り換わります。メニューの一覧からメニューアイコンを選択する場合、メニューアイコンのみの表示に切り換わります。		


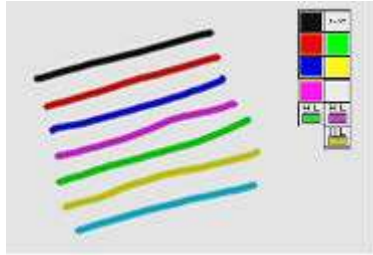
9.8 線色

描画する線の色を設定します。

「線色」アイコンを選択すると、色一覧が表示されます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「線色」アイコンを選択します。		

<p>2 サブメニューが表示されますので、任意の線色を選択します。その後、設定した色で描画できます。</p> <p>「メニュー」アイコンを選択すると、メニューの一覧画面へ移動します。</p>		<p>ホワイトボードに基本色の7色で描画</p> 
---	---	---



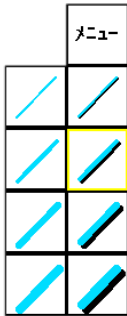
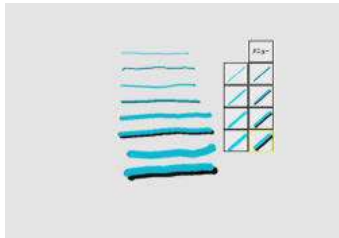
【注意】「線色」アイコンから線色設定した場合、マウス及びペンの線色は同一色で設定されます。ベース画像をホワイトボードに設定している場合、ハイライト色は無効となり、白色は水色となります。

9.9 線幅

描画する線の幅を設定します。

「線幅」アイコンを選択すると、線幅の一覧が表示されます。

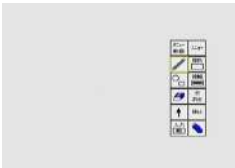


番号	手順	アイコン	使用例
1	「線幅」アイコンを選択します。		
2	<p>サブメニューが表示されますので、描画時の線幅を選択します。その後、設定した線幅で描画できます。</p> <p>「メニュー」アイコンを選択すると、メニューの一覧画面へ移動します。</p>		<p>各線幅で描画</p> 

9.10 全消去

描画した内容を全消去します。

全
消去

番号	手順	アイコン	使用例
1	「全消去」アイコンを選択すると、描画内容が全消去されます。		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>全消去前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>全消去後</p>  </div> </div>

【注意】「全消去」は消しゴムアイコンのサブメニュー内「取消」を行っても取消することはできません。

9.11 映像静止

CPN-6000 は選択した入力信号の映像を、静止させることができます。

静止については、11.2 静止 (P.67) ご参照ください。

9.12 画像保存

本体に接続された USB にキャプチャした画像を保存することができます。

画像の保存について、11.3 描画画像の保存 / 読み込み (P.68) ご参照ください。

10. メインメニュー

本機の各種設定を行います。

IP アドレスなどの数値を入力する場合は、あらかじめ本機に USB キーボードを接続してください。
キーボードの[Print Screen]([Prt Scn])キーを押すと、出力映像にメインメニューが表示されます。

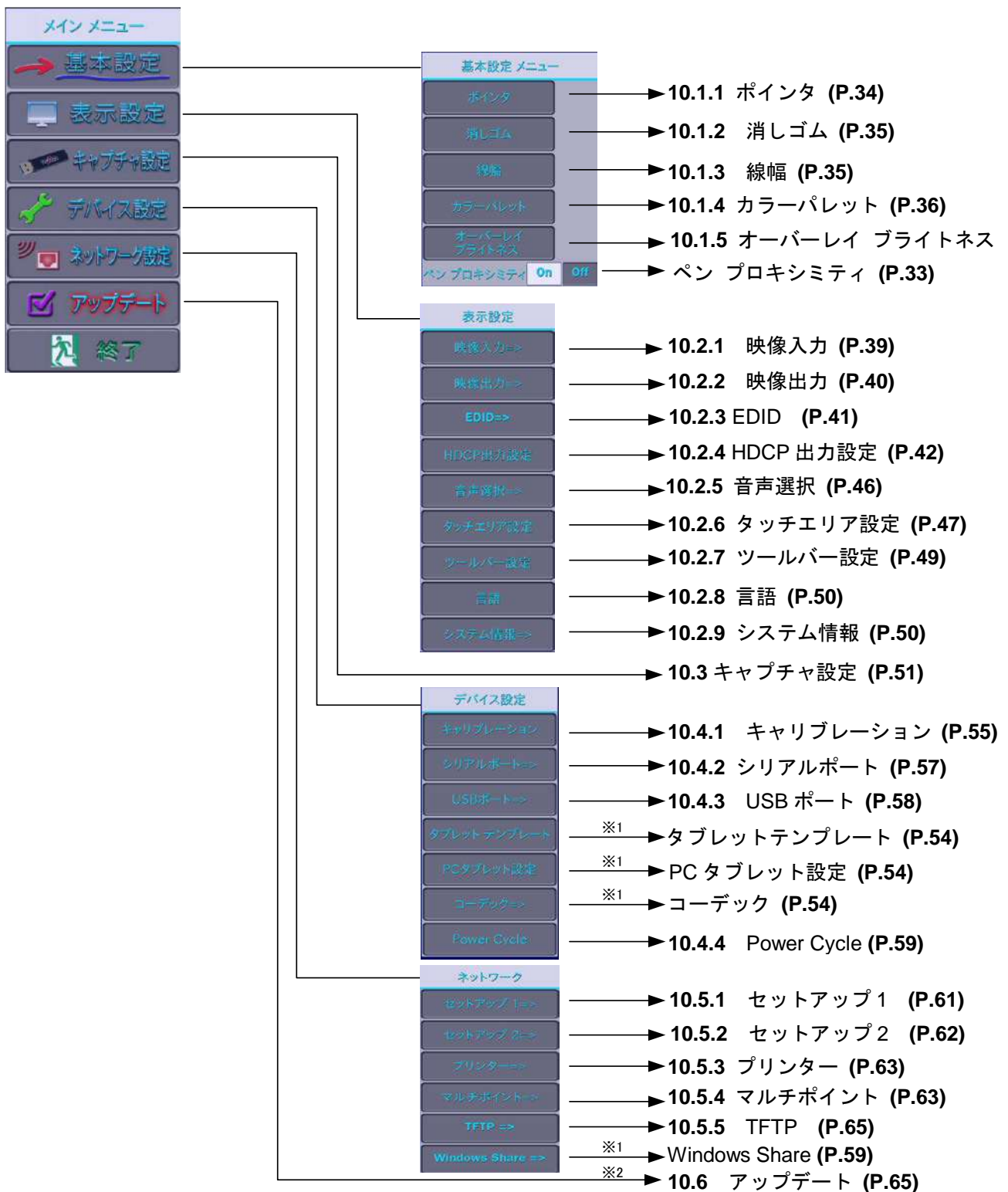
【注意】本機はメインメニューの終了を選択すると、各設定や現在の描画内容が保存されます。メインメニュー表示中に電源を切断すると、設定内容は保存されず、次回起動時に反映されないので注意してください。

※ メインメニューを終了すると、現在の描画内容の再描画を行います。

本機で設定するメニューは、以下の項目に分類されます。

- 描画の色や線幅等を設定する (基本設定)
- 画面の解像度等を設定する (表示設定)
- 描画データを外部に保存する設定 (キャプチャ設定)
- キャリブレーションや、各種ポートを設定する (デバイス設定)
- ネットワーク等を設定する (ネットワーク設定)
- 本機のアップデート等を行う (アップデート)

メニュー階層は以下のとおりです。


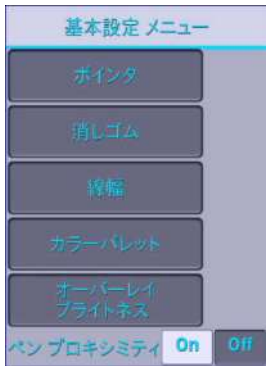



※1 現バージョンでは対応していません。

※2 メンテナンス用で、通常使用する必要はありません。





10.1 基本設定

基本設定は「ポインタ」「線幅」「カラーパレット」「オーバーレイ ブライトネス」などの主に描画に関する設定を行うことができます。

番号	手順	使用例
1	「基本設定」を選択します。	
2	「基本設定メニュー」で各種設定を行います。	
		
	ポインタ	ポインタを設定します。
	消しゴム	消しゴムを設定します。
	線幅	線幅を設定します。
	カラーパレット	マウスやペンで線色を変更する時の色を設定します。
	オーバーレイ ブライトネス	オーバーレイのブライトネスを設定します。
3	<p>ペン プロキシミティ</p> <p>Onにするとマウス無操作時間で設定した時間が経過するとマウスポインタが非表示されます。</p> <p>Offにすると、マウスポインタが常に表示されます。</p> <p>デフォルトの設定はOnに設定されています。</p>	

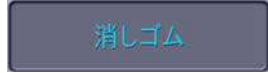
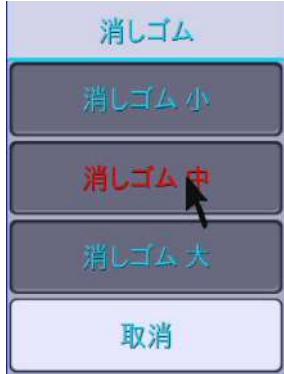
10.1.1 ポインタ

ポインタのアイコンを設定します。

番号	手順	使用例
1	「ポインタ」を選択します。	
2	<p>使用するポインタを選択します。</p> <p>「ポインタなし」を選択した場合でも、マウス使用時やメインメニュー上では下図のポインタが表示されます。</p> 	
3	<p>ポインタの表示時間を「秒」単位で指定してください。ポインタの表示時間は、マウスやタッチペンの操作が無操作状態になってからポインタが非表示になるまでの時間です。</p> <p>0に設定した場合、常に表示されます。</p> <p>1~9999 [秒]で設定できます。</p> <p>デフォルトの設定は2 [秒]に設定されています。</p>	

10.1.2 消しゴム

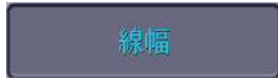
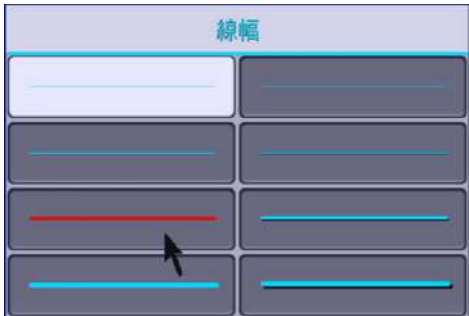
マウスを右クリックするかもしくはキーボードの「Delete」を押すことにより、「消しゴム 小」「消しゴム 中」「消しゴム大」「取消」の設定を行うことができます。なお、デフォルトは「取消」モードで設定されています。

番号	手順	使用例
1	「消しゴム」を選択します。	
2	使用するモードを選択します。	

10.1.3 線幅

線幅を設定します。線幅の種類は「極細」「細」「中」「太」の4種類に各「影付き」を加え、計8種類から選択できます。




【注意】ここで設定する線幅は、メインメニューを開く際に使用したデバイスに適用されます。
例：キーボードでメニューを開いた場合、キーボードの線幅のみ設定が適用されます。

番号	手順	使用例
1	「線幅」を選択します。	
2	使用する線幅を選択します。	

10.1.4 カラーパレット


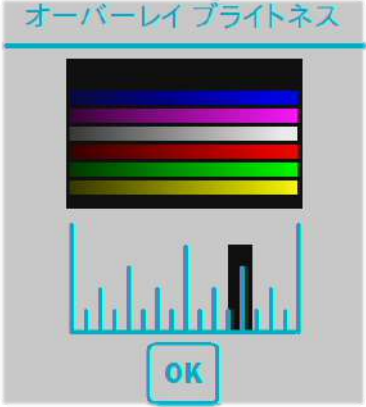
描画する線と色を有効または無効にすることができます。有効にした色は、タブレットのペン、マウスおよびシリアルコマンドで線色を設定する際、設定することが可能となります。

【注意】 ツールバーの **線色** (P.28) で線色を選択する場合、選択したカラーが自動で有効となります。

番号	手順	使用例
1	「カラーパレット」を選択します。	
2	<p>使用する線色を有効にします。 有効となった色の背景は白くなります。</p> <p>デフォルト設定では、すべてカラーが有効にされています。</p>	
3	<p>「選択色変更」を有効にすると、タブレットのペン、マウスおよびシリアルコマンドで線色を設定する際、選択した色が一瞬画面の右下に表示されるようになります。</p> <p>デフォルトでは有効されています。</p>	


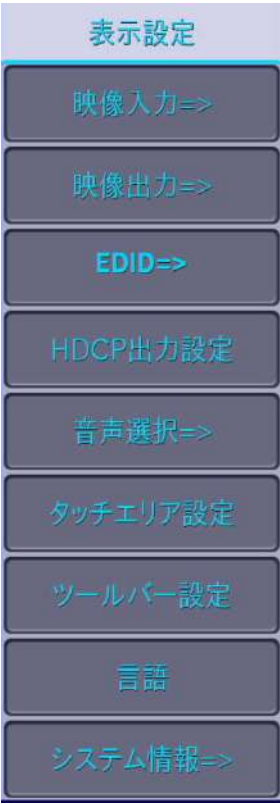
10.1.5 オーバーレイ ブライトネス

本機のオーバーレイ(描画内容 / メインメニュー / ホワイトボード)のブライトネスを設定します。
入力されている映像のブライトネスは変化しませんのでご注意ください。

番号	手順	使用例
1	「オーバーレイ ブライトネス」を選択します。	
2	<p>メモリを右へ移動すると明るくなり、左へ移動すると暗くなります。</p> <p>カラーバー表示は、各描画色を選択した時のブライトネスの目安です。</p> <p>「OK」ボタンを選択することで設定が反映されます。</p> <p>※ キーボードを使用して設定する場合は、目盛りを「矢印」キーで移動した後、「OK」を選択してください。</p>	

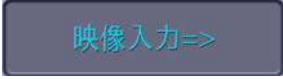
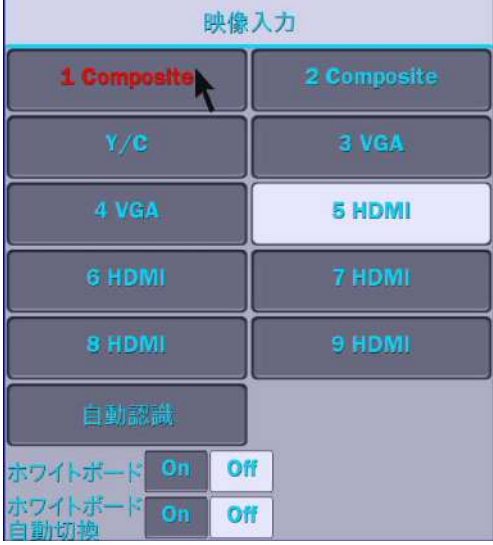
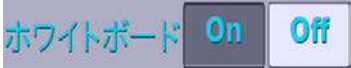


10.2 表示設定

表示設定では入出力映像やベース画像などの映像に関する部分とタッチエリア設定やツールバー設定のインターフェースに関する設定を行います。

番号	手順	使用例	
1	「表示設定」を選択します。		
2		映像入力	映像入力の設定を行います。
		映像出力	出力される映像の解像度を設定します。
		EDID	HDMI 入力の EDID を設定します。
		HDCP 出力設定	入力と出力の HDCP を設定します。
		音声選択	入力と出力の音声を設定します。
		タッチエリア設定	タッチエリアを設定します。
		ツールバー設定	ツールバーメニューを設定します。
		言語	本機のメニューの言語を設定します。
		システム情報	現在システムの情報を表示します。

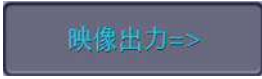
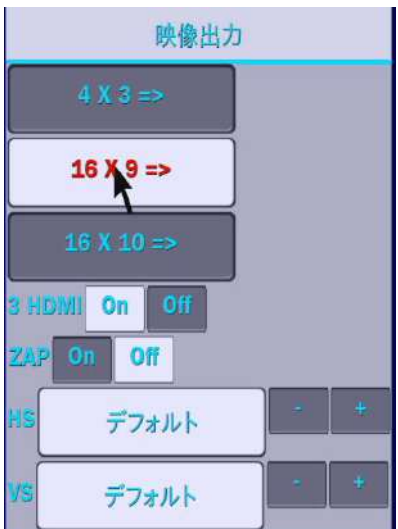

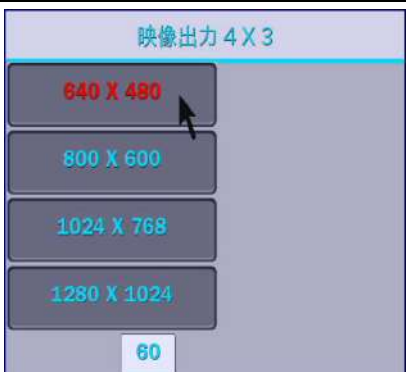
10.2.1 映像入力

本機に入力する映像について設定します。

番号	手順	使用例
1	「映像入力⇒」を選択します。	
2	表示する映像入力を選択します。 「自動認識」を選択した場合、現在接続しているHDMI入力で一番高いPriority入力に切り換わります。 例：入力5⇒入力9（Priority 最高） 【注意】：Encoder（P.53）が有効されている場合、映像入力は「自動認識」に設定できません。	
3	ホワイトボードの表示を有効・無効します。	
4	「ホワイトボード自動切換」を「On」にする場合、映像入力が無いとき、ホワイトボードは自動で表示します。	
5	映像の入力が無い場合、「Searching...」が出力されます。	

10.2.2 映像出力

本機から出力される映像について設定します。

番号	手順	使用例
1	「映像出力⇒」を選択します。	
2		<p>4×3 16×9 16×10</p> <p>3 HDMI</p> <p>ZAP※¹</p> <p>HS※¹</p> <p>VS※¹</p>
		<p>アスペクト比から出力解像度を選択します。 デフォルトでは4×3の1024×768に設定されています。</p> <p>HDMI 出力3をOn/Offすることができます。 デフォルトではOnに設定されています。</p> <p>ZAPアイコンの表示をOn/Offします。 デフォルトではOffに設定されています。</p> <p>水平同期信号の極性を変更します。 デフォルトでは「デフォルト」に設定されています。</p> <p>垂直同期信号の極性を変更します。 デフォルトでは「デフォルト」に設定されています。</p>
3	アスペクト比を選択後、解像度を選択します。 例：4×3のアスペクト比を設定後に解像度（640×480）を選択します。	

※1 現バージョンでは対応していません。



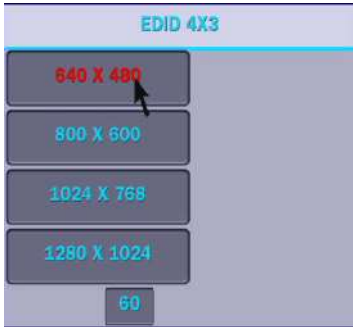
[表 10.1] 出力解像度

アスペクト比	解像度	垂直同期周波数[Hz]
4×3	640×480	60 / 72 / 75 / 85
	800×600	56 ^{*2} / 60 / 72 / 75
	1024×768	60 / 70 / 72 / 75 / 85
	1280×1024	60 / 72 / 75
16×9	1280×720p	60 / 59.94 / 50
	1920×1080p	60 / 59.94 / 50
16×10	1280×800	60
	1440×900	60
	1680×1050	60
	1920×1200	60

※2 現バージョンでは対応していません。



10.2.3 EDID

HDMI 入力の EDID の解像度について設定します。

番号	手順	使用例
1	「EDID⇒」を選択します。	
2		<p>4×3 16×9 16×10</p> <p>Force</p> <p>アスペクト比から HDMI 入力の EDID の解像度を選択します。 デフォルトでは 16×9 の 1920×1080p に設定されています。</p> <p>「Force」を「ON」に設定する場合、EDID の解像度を選択するとすぐ実行されます。 ※現バージョンでは「ON」のみ対応しています。</p>
3	アスペクト比を選択後、EDID の解像度を選択します。 例:4×3 のアスペクト比を設定後に EDID の解像度 (640×480) を選択します。	

10.2.4 HDCP 出力設定

本機の入力と出力の HDCP の ON / OFF について設定します。

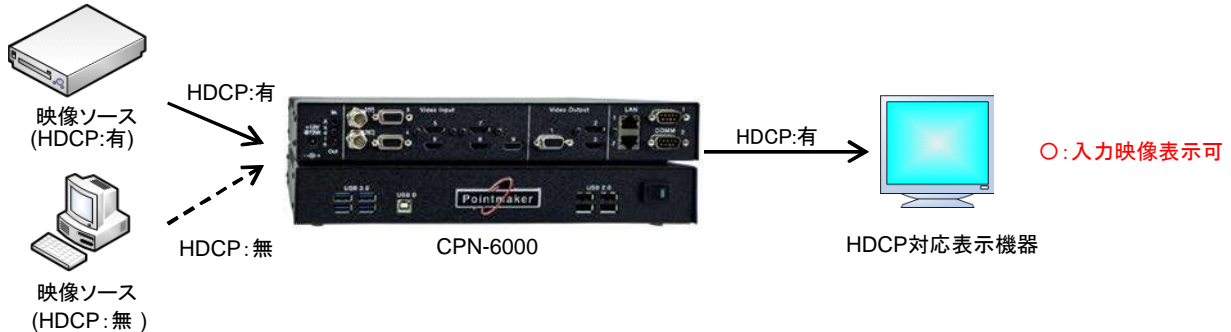
番号	手順	使用例
1	「HDCP 出力設定」を選択します。	
2	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>Output (ソース機器から見た Outputの設定)</p> <p>Input (CPN-6000の入力ご との出力設定)</p> </div> </div>	<p>HDMI 入力の HDCP を設定します。</p> <p>「Default」 また「Always On」 に設定する場合、HDMI 入力の HDCP が有効となります。入力側に接続された機器から本器に対して、HDCP の出力が行われます。</p> <p>「Always Off」 に設定する場合、HDMI 入力の HDCP が無効になります。入力側に接続された機器から本器に対しては、HDCP の出力は行われません。</p> <p>デフォルトでは「Default」 に設定されています。</p> <p>HDMI 出力の HDCP を設定します。</p> <p>「ON」 に設定する場合、入力信号の HDCP 付加の状態に関係なく、常時 HDCP が出力されます。</p> <p>「OFF」 に設定する場合、入力信号に HDCP が付加される場合のみ、HDCP が出力されます。</p> <p>デフォルトではすべて「On」 に設定されています。</p> <p>※「VP-72S」 現バージョンでは対応していません。</p>

■ 接続する表示機器による出力信号の HDCP の有無について

設定を行う際は、「Output」の設定を行ったうえで、「Input」の設定を行ってください。

a. HDCP Output ニューを「Default」 また「Always On」に設定した場合

本機の HDMI/DVI 出力は接続した表示機器が HDCP に対応している場合、入力信号の HDCP 付加の有無に関わらず、常時 HDCP を付加した信号が出力されます。



[図 10-1] HDCP Output メニュー「Default」しくは「Always On」

HDCP Input メニュー On - HDCP 対応表示機器に接続した場合

◆ HDCP Input メニューを「On」に設定した場合

接続した表示機器が HDCP に非対応の場合は、HDCP が付加されている信号を表示させることはできません。この場合、本機からは緑色の画面が出力されます。本設定では、HDCP が付加されていない信号のみ表示できます。



[図 10-2] HDCP Output メニュー「Default」しくは「Always On」

HDCP Input メニュー On - HDCP 非対応表示機を接続した場合(入力: HDCP 有)



[図 10-3] HDCP Output メニュー「Default」しくは「Always On」

HDCP Input メニュー On - HDCP 非対応の表示機器に接続した場合の出力映像(入力:HDCP 有)

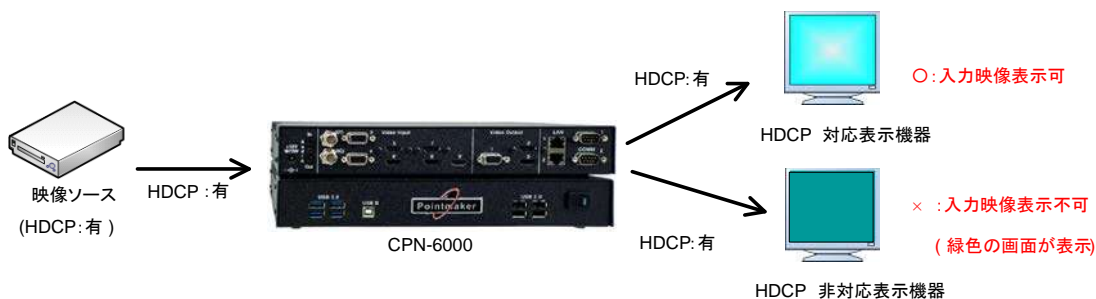


[図 10-4] HDCP Output メニュー「Default」もしくは「Always On」

HDCP Input メニュー On - HDCP 非対応表示機を接続した場合(入力：HDCP 無)

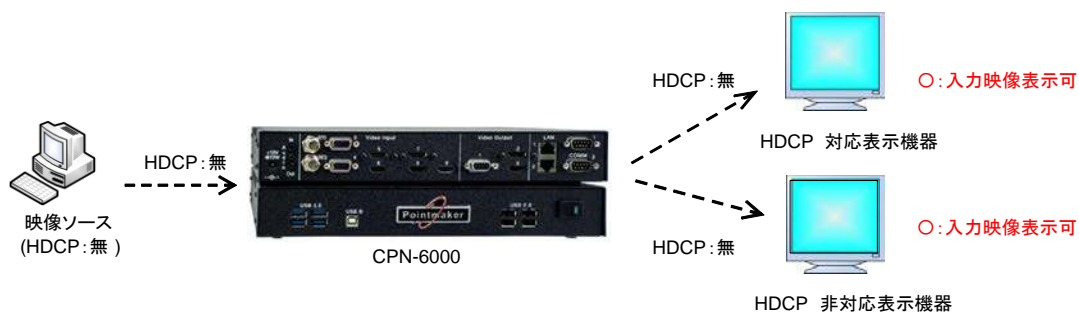
◆ HDCP Input メニューを「Off」に設定した場合

入力信号に HDCP が付加されている場合のみ、HDCP が出力されます。表示機器が HDCP に非対応の場合、本機からは緑色の画面が出力されます。



[図 10-5] HDCP Output メニュー「Default」もしくは「Always On」

HDCP Input メニュー Off - 入力信号に HDCP が付加されている場合



[図 10-6] HDCP Output メニュー「Default」もしくは「Always On」

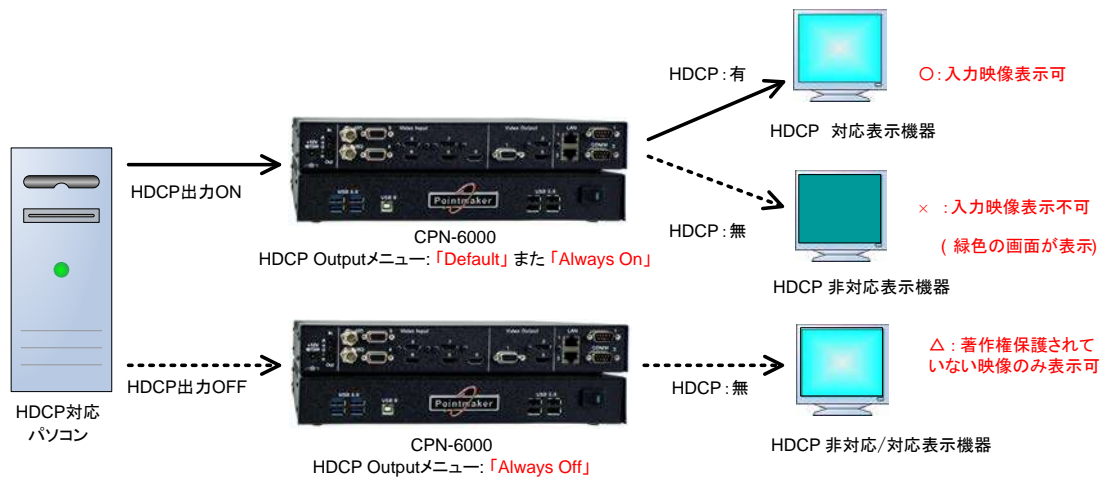
HDCP Input メニュー Off - 入力信号に HDCP が付加されていない場合

b. HDCP Output メニューを「Always Off」に設定した場合

ソース機器から本機に対して、HDCP 出力は行われません。そのため本設定を利用する場合、HDCP コンテンツはご利用になれません。

一部のソース機器は、接続されるシンク機器が HDCP に対応しているかどうかを判断し、HDCP 出力の ON / OFF を決定します。

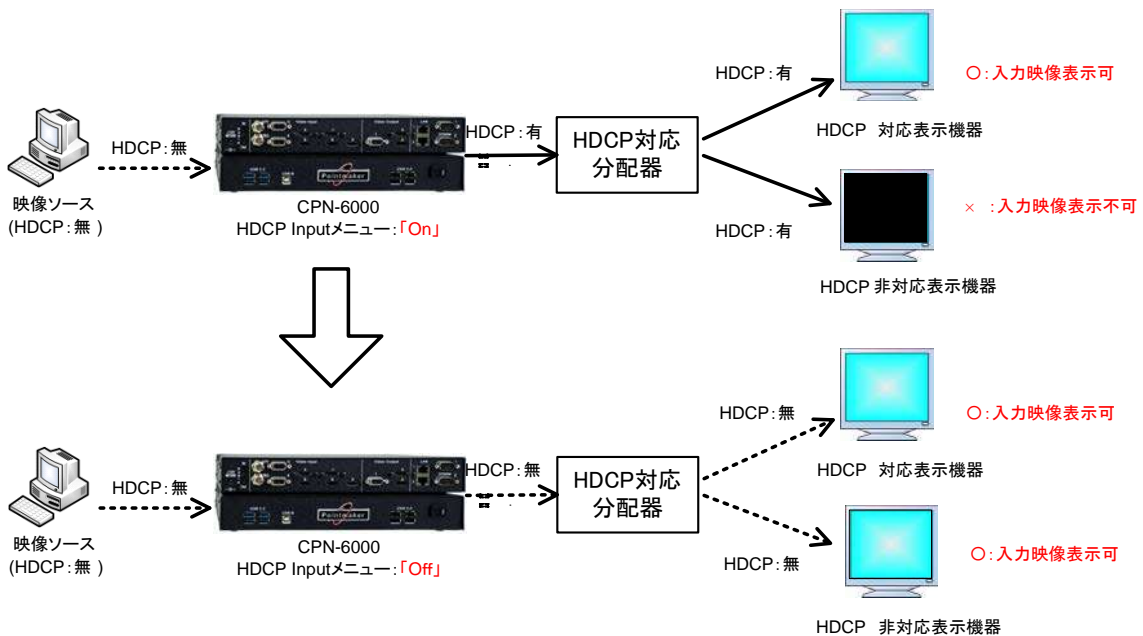
本機は HDCP に対応しているため、HDCP に非対応表示機器を接続した場合、映像が表示されないときがあります。このような場合、「Always Off」に設定することで、ソース機器からの HDCP 出力を禁止することができます。そのためソース機器に HDCP を付加せずに出力させ、HDCP 非対応表示機器に映像を表示することができます。



【図 10-7】 Output HDCP 設定について

c. 分配器に接続した場合の注意点

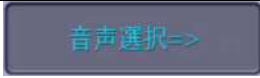

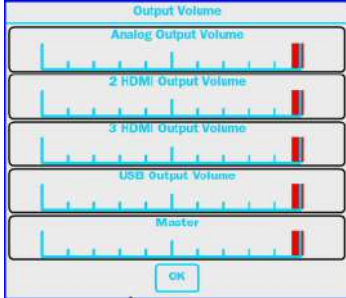
本機の出力に HDCP に対応した分配器を接続し、分配器の出力に HDCP に対応していない表示機器を接続した場合、本機の HDCP Input メニューはデフォルト「On」に設定されているため、本機に入力された HDCP の付加されていない信号は表示されません。信号を表示機器に表示させるには、HDCP Input メニューを「Off」に設定してください。



【図 10-8】 HDCP に対応している分配器に接続した場合

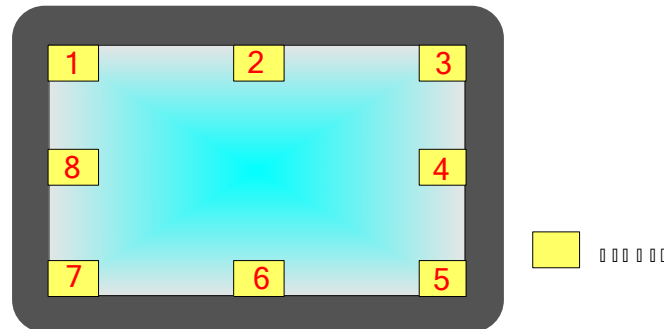
10.2.5 音声選択

本機の音声の入力および出力について設定できます

番号	手順	使用例
1	「音声選択」を選択します。	
2		Input 出力する音声を設定します。 「Audio (Analog)」を設定する場合、アナログ音声入力の音声を入力します。 「Video Source」を選択する場合、選択されている HDMI 入力のデジタル音声を入力します。 デフォルトでは「Video Source」に設定されています。 ※「USB」現バージョンでは対応していません。
		Output CPN-6000 出力ごと音声を ON / OFF にします。 USB ポートから USB スピーカに音声を出力可能です。スピーカに接続した後に、CPN-6000 の再起動が必要です。 デフォルトではすべて出力音声が ON に設定されています。 「Volume」メニューでは、出力ごとの音声レベルを設定できます。 ※「Audio (Analog)」現バージョンでは対応していません。
3	「Volume」を選択後、出力ごとの音声の設定画面を表示して、音声レベルを設定します。 「Master」を設定すると、すべて出力音声を設定できます。 デフォルトでは、最大レベルに設定されています。	

10.2.6 タッチエリア設定

本機は8つのタッチエリアがあります。タブレットでそのタッチエリアにタッチするかマウスでクリックすることで、タッチエリアの設定されているメニューの機能を利用することが可能です。なお、タッチエリアごとに、割り当てる機能や割り当てた機能の有効・無効の設定を行うことができます。



[図 10-9] CPN-6000 のタッチエリア

例：タッチエリア「1」を「メイン メニュー」に設定する場合、タブレットで左上部分にタッチすると、CPN-6000 のメインメニューが表示されます。

番号	手順	使用例
1	「タッチエリア設定」を選択します。	
2		Touch Areas タッチエリアのON/OFFを設定します。デフォルトでは、OFFに設定されています。
		ツールバー ツールバーメニュー (P.23)のON/OFFを設定します。OFFに設定する場合、出力映像ではツールバーメニューが非表示になります。デフォルトでは、ONに設定されています。
		タッチエリア (8 タッチエリア) タッチエリアごとのメニューを設定します。
		戻る 前のページへ戻ります。
3	タッチエリアを選択後、タッチエリアのメニューの一覧が表示されます。そのメニューの中から割り当てる機能を選択します。 デフォルトでは下記の同様に設定されています。 「1」：線色 「2」：メイン メニュー 「3」：静止画 「4」：印刷 「5」：取消 「6」：画像送信 「7」：全消去 「8」：画像保存	

[表 10-2] タッチエリアメニュー

メニュー	使用側
設定なし	メニューを設定しません。
全消去	描画内容を全消去します。
取消	直前の操作を取り消します。
線色	線色が順番に切り換わります。
静止画	入力した映像を静止します。 11.2 静止 (P.67) をご確認ください。
印刷	出力した映像をキャプチャして印刷します。 11.4 描画画像のプリント (P.73) ご確認ください。
カラーモード	ハイライトカラーモードへ切り換わります。
Audio Volume	出力音声のレベルを設定します。
画像保存	出力した映像をキャプチャして USB に保存します。
画像送信	出力した映像をキャプチャして TFTP に送信します。
画像取得	USB に保存した画像を読み込みます。
セレクト ^{※1}	PC のマウス機能へ切り換わります。
メイン メニュー	メイン メニューを表示します。
次の入力	一つ大きな入力チャンネルへ切り換わります。例えば、 入力 5 を利用している際は、入力 6 へ切り換わります。
前の入力	一つ小さな入力チャンネルへ切り換わります。例えば、 入力 5 を利用している際は、入力 4 へ切り換わります。
入力選択	接続されている入力の一覧を表示して、選択します。

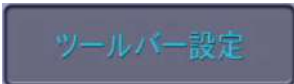

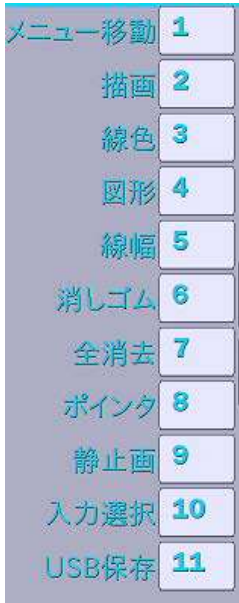
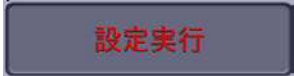
※1 現バージョンでは対応していません。

10.2.7 ツールバー設定

本機では最大 11 のツールバーメニューに対応しています。ツールバーに表示するメニューの内容および表示位置を設定することが可能です。ツールバーメニューフレームは、最大 11 スロットとなります。


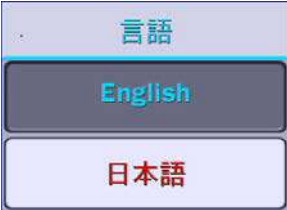
1	
2	3
4	5
6	7
8	9
10	11

【図 10-10】 ツールバーメニューフレーム

番号	手順	使用例
1	「ツールバー設定」を選択します。	
2	<p>使用するメニューの位置を選択します。</p> <p>例：「USB 保存」メニューをスロット「1」に表示したい場合、「USB 保存」メニューに「1」を記入します。</p> <p>使用しないメニューには「0」または空欄とします。</p> <p>例：「USB 保存」メニューのみ表示する場合、</p>  <p>デフォルトの設定では、すべてメニューが表示されます。</p>	
3	ツールバーメニューの内容および位置を設定後、「設定実行」を選択し、設定を有効にします。	


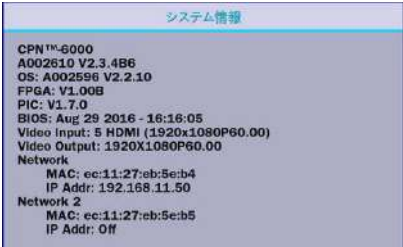
10.2.8 言語

本機では日本語と英語メニュー言語に対応しています。メニューで言語を設定します。

番号	手順	使用例
1	「言語」を選択します。	
2	使用する言語を選択します。 デフォルトでは「日本語」に設定されています。	

10.2.9 システム情報



本メニューでは本機の情報を確認できます。

番号	手順	使用例
1	「システム情報」を選択します。	
2	本機のファームウェアバージョンや入出力解像度などを確認します。	

10.3 キャプチャ設定

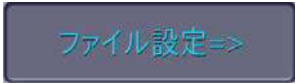

描画画像の保存/読み込みファイルの設定(ディレクトリ、ファイル名)、保存先(USB / TFTP)の設定、ベリファイの ON / OFF の設定を行います。

キャプチャ設定は次の設定が可能です。

番号	手順	使用例
1	「キャプチャ設定」を選択します。	
2	「キャプチャ設定メニュー」で各種設定を行います。	
		ファイル設定 保存 / 読み込みするファイルのディレクトリ、先頭文字、インデックスを設定します。
		保存先 ファイルの保存先を設定します。 「USB」に設定し、ご使用ください。 デフォルトでは「USB」に設定されています。
		ベリファイ ベリファイを ON / OFF します。 「On」の場合、保存時にデータの異常をチェックします。 デフォルトでは「OFF」に設定されています。
		Encoder 映像ストリーミング有効・無効や解像度などを設定します。

10.3.1 ファイル設定

描画ファイルの保存先や、名前の設定を行います。

番号	手順	使用例
1	「ファイル設定」を選択します。	
2	「ファイル設定」で各種設定を行います。	
		ディレクトリ 保存 / 読み込み先ディレクトリ名を設定します。画像保存時、USBメモリのルートフォルダに、ディレクトリで設定した名前のフォルダが存在しない場合、設定したディレクトリ名でフォルダを自動で作成します。* ¹ * ² デフォルトではPVIに設定されています。
		先頭文字 保存/読み込みするファイル名の先頭の文字列を設定します。* ¹ * ³ デフォルトではIMGに設定されています。
		インデックス 保存するファイルのインデックス番号です。画像を保存する度に1ずつ増加します。* ⁴ デフォルトではインデックスに設定されています。

※1 入力できるのは英数字のみです。日本語入力には対応していません。

※2 ディレクトリに何も入力しない場合、USBメモリのルートフォルダが設定されます。


※3 先頭文字に何も入力しない場合「インデックス.BMP」のファイル名で保持されます。

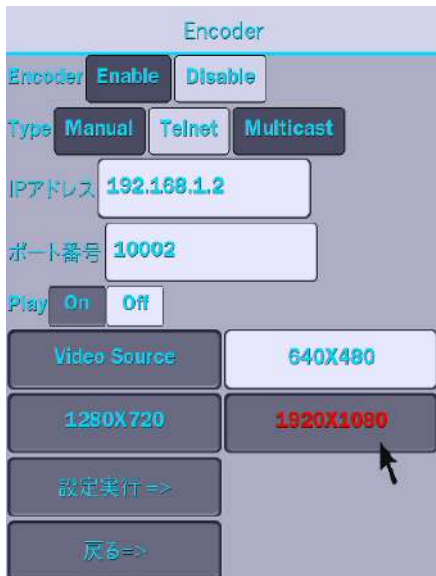
※4 インデックスに入力できるのは、数字のみです。

10.3.2 Encoder

本機のストリーミングのエンコーダの有効・無効の設定や解像度設定を行います。

【注意】映像入力 (P.39) を「自動認識」に設定されているとき、Encoder は有効できません。Encoder を有効する場合、必ず映像入力を「自動認識」以外の設定にしてください。

番号	手順	使用例														
1	「Encoder」を選択します。															
2	「Encoder」で各種設定を行います。	<table border="1"> <tr> <td>Encoder</td> <td>エンコーダの設定を有効または無効とします。 IPad にストリーミングする際は、Encoder を Enable に設定してください。 デフォルトでは Disable に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>Type</td> <td>ストリーミングのタイプを設定します。 現バージョンでは、Telnet のみ対応しています。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>現バージョンでは対応していません。</td> </tr> <tr> <td>ポート番号</td> <td>現バージョンでは対応していません。 デフォルトでは 10002 で設定されています。</td> </tr> <tr> <td>Play</td> <td>ストリーミングを再生、また一時停止をします。</td> </tr> <tr> <td>ストリーミング解像度</td> <td>ストリーミングの解像度を設定します。 Video Source : ストリーミング解像度は入力解像度と同じになります。 640×460 : ストリーミング解像度を 640×480 で設定します。 1280×720 : ストリーミング解像度を 1280×720 で設定します。 1920×1080 : ストリーミング解像度を 1920×1080 で設定します。</td> </tr> <tr> <td>設定実行</td> <td>設定を有効にします。</td> </tr> </table>	Encoder	エンコーダの設定を有効または無効とします。 IPad にストリーミングする際は、Encoder を Enable に設定してください。 デフォルトでは Disable に設定されています。	Type	ストリーミングのタイプを設定します。 現バージョンでは、Telnet のみ対応しています。	IP アドレス	現バージョンでは対応していません。	ポート番号	現バージョンでは対応していません。 デフォルトでは 10002 で設定されています。	Play	ストリーミングを再生、また一時停止をします。	ストリーミング解像度	ストリーミングの解像度を設定します。 Video Source : ストリーミング解像度は入力解像度と同じになります。 640×460 : ストリーミング解像度を 640×480 で設定します。 1280×720 : ストリーミング解像度を 1280×720 で設定します。 1920×1080 : ストリーミング解像度を 1920×1080 で設定します。	設定実行	設定を有効にします。
Encoder	エンコーダの設定を有効または無効とします。 IPad にストリーミングする際は、Encoder を Enable に設定してください。 デフォルトでは Disable に設定されています。															
Type	ストリーミングのタイプを設定します。 現バージョンでは、Telnet のみ対応しています。															
IP アドレス	現バージョンでは対応していません。															
ポート番号	現バージョンでは対応していません。 デフォルトでは 10002 で設定されています。															
Play	ストリーミングを再生、また一時停止をします。															
ストリーミング解像度	ストリーミングの解像度を設定します。 Video Source : ストリーミング解像度は入力解像度と同じになります。 640×460 : ストリーミング解像度を 640×480 で設定します。 1280×720 : ストリーミング解像度を 1280×720 で設定します。 1920×1080 : ストリーミング解像度を 1920×1080 で設定します。															
設定実行	設定を有効にします。															



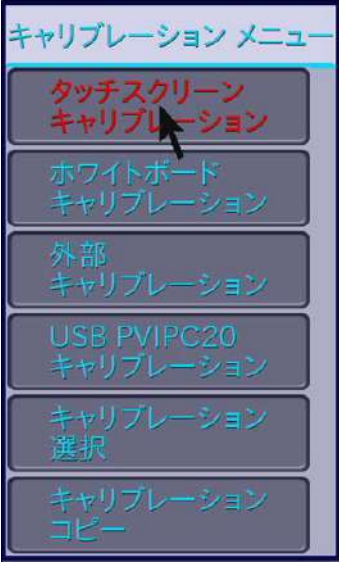
10.4 デバイス設定

本機に接続する制御 / 描画デバイスの設定を行います。

番号	手順	使用例														
1	「デバイス設定」を選択します。															
2	「デバイス設定」で設定を行いたい項目を選択してください。															
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>キャリブレーション</td> <td>描画デバイスのキャリブレーションを行います。</td> </tr> <tr> <td>シリアルポート</td> <td>RS-232C コネクタの設定を行います。</td> </tr> <tr> <td>USBポート</td> <td>USB コネクタの設定を行います。</td> </tr> <tr> <td>タブレット テンプレート</td> <td><u>現バージョンでは対応していません。</u></td> </tr> <tr> <td>PCタブレット設定</td> <td><u>現バージョンでは対応していません。</u></td> </tr> <tr> <td>コーデック</td> <td><u>現バージョンでは対応していません。</u></td> </tr> <tr> <td>Power Cycle</td> <td>自動再起動の設定を行います。</td> </tr> </tbody> </table>	キャリブレーション	描画デバイスのキャリブレーションを行います。	シリアルポート	RS-232C コネクタの設定を行います。	USBポート	USB コネクタの設定を行います。	タブレット テンプレート	<u>現バージョンでは対応していません。</u>	PCタブレット設定	<u>現バージョンでは対応していません。</u>	コーデック	<u>現バージョンでは対応していません。</u>	Power Cycle	自動再起動の設定を行います。
キャリブレーション	描画デバイスのキャリブレーションを行います。															
シリアルポート	RS-232C コネクタの設定を行います。															
USBポート	USB コネクタの設定を行います。															
タブレット テンプレート	<u>現バージョンでは対応していません。</u>															
PCタブレット設定	<u>現バージョンでは対応していません。</u>															
コーデック	<u>現バージョンでは対応していません。</u>															
Power Cycle	自動再起動の設定を行います。															

10.4.1 キャリブレーション





本機に接続する描画デバイスのキャリブレーションを行います。

番号	手順	使用例
1	キャリブレーションメニューでキャリブレーションしたい項目を選択してください。	
		タッチスクリーン キャリブレーション 描画デバイスのキャリブレーションを行います。
	ホワイトボード キャリブレーション	<u>現バージョンでは対応していません。</u>
	外部 キャリブレーション	<u>現バージョンでは対応していません。</u>
	USB PVI PC20 キャリブレーション	<u>現バージョンでは対応していません。</u>
	キャリブレーション 選択	<u>現バージョンでは対応していません。</u>
	キャリブレーション コピー	<u>現バージョンでは対応していません。</u>

10.4.1.1. タッチ スクリーンキャリブレーション

キャリブレーション(タッチ位置の補正)を行います。タッチペンで画面をタッチした時の位置と、画面上の位置が異なる場合に使用します。

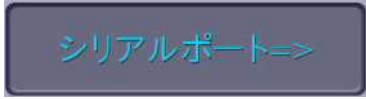

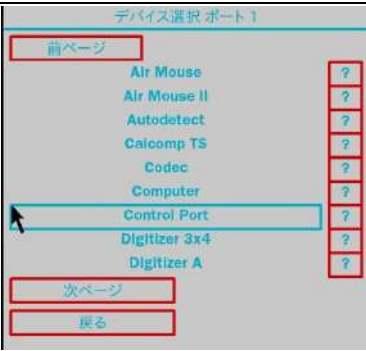

また、キャリブレーション結果は本機内部の不揮発性メモリに保存されるので、電源を切断してもキャリブレーションを再度行う必要はありません。※1

番号	手順	使用例
1	「タッチスクリーン キャリブレーション」を選択します。	
2	「タッチスクリーンキャリブレーション」画面が表示されますので、「+」の点の交差点をタッチペンでタッチします。	
3	タッチを認識すると、「+」の点が、移動しますので、さらに「+」の交差点をタッチします。「+」の点は、12回表示されますので、ポインタが移動するたびにペン先をタッチしてください。	
4	キャリブレーションの実行中にマウスやキーボードを操作した場合は、キャリブレーションが中止されます。この場合、再度メインメニューから再操作を行ってください。	

※1 1度キャリブレーションを行った場合でも、電源 ON 時にペンタブレットを接続している USB コネクタの抜き差しや電源 OFF 時に接続している USB コネクタ箇所を変更すると、以前のキャリブレーション結果が適用されない場合があります。この場合、再度キャリブレーションを行ってください。

10.4.2 シリアルポート

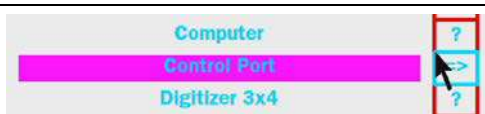
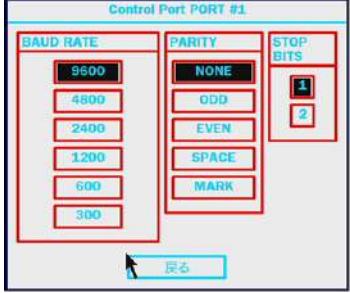
DPM-5000-B のシリアルポートの各種設定を行います。

番号	手順	使用例
1	「シリアルポート」よりシリアルポート設定を行います。	
2	各シリアルポートのデバイスのドライバが表示されます。 設定したいポートの「>」を選択してください。※ ¹ ※ 何も接続されていない場合、“Unrecognized”と表示されます。	
3	「デバイス選択ポート」が表示されます。 表示されているデバイスの一覧から使用したいデバイスを選択してください。※ ² 使用したいデバイスが表示されていない場合、「前ページ」、「次ページ」を選択し、ページを移動してください。 各種右側の「?」部分を選択するとドライバの詳細情報が表示されます。 設定後、「戻る」を選択してください。 ※ RS-232C を利用する場合、Control Port を選択してください。	
4	ドライバ設定後、前の画面に戻るとポート番号のボックスが赤く塗りつぶされているので、そのボックスを選択してください。塗りつぶしが取り消されます。その後設定が適用されます。 ※ ボックスが赤く塗りつぶされたままだと、シリアルポートの設定は適用されません。	

※1 シリアルポート1ではデフォルト「Control Port」に設定されています。

※2 シリアルポート1とシリアルポート2は同様に設定できません。例：ポート1はデフォルト「Control Port」に設定されているので、ポート2は「Control Port」に設定できません。

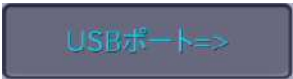
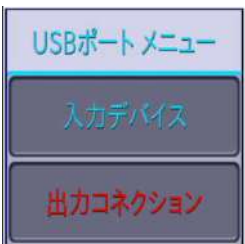

10.4.2.1. シリアルポート設定

1	「Control Port」右側、赤枠を選択すると、設定ページへ移動します。		
2		BAUD RATE	シリアルポートのボーレートを設定します。 デフォルトでは「9600」に設定されています。
		PARITY	シリアルポートのパリティを設定します。 デフォルトでは「NONE」に設定されています。
		STOP BITS	シリアルポートのストップビットを設定します。 デフォルトでは「1」に設定されています。



10.4.3 USB ポート

各種 USB ポートの設定を行います。

本機は電源起動時に自動的に接続されたデバイスに対してドライバを設定します。そのため、手動でドライバを設定する場合。電源を起動するたびに、USB デバイスの設定を行ってください。

番号	手順	使用例	
1	「USB ポート」より各種設定を行います。		
2		入力デバイス	USB 入力デバイスのドライバ設定を行います。
		出力コネクション	現バージョンでは対応していません。
3	<p>「USB デバイス」画面にて、各 USB ポートで使用するデバイスを選択します。</p> <p>各デバイス右側の「?」部分を選択するとデバイス情報 (アドレス / ベンダーID / プロダクト ID) が表示されます。 「=>」部分を選択するとデバイス選択が表示されません。</p> <p>※ 各デバイスの左に表示されている数字は USB のアドレスとなります。</p> <p>※ キーボードとマウスを接続された場合、「Vendor ID : Product ID」で表示されます。</p>		


10.4.3.1. デバイス選択画面

1	「USB デバイス」の右側、「=>」部分を選択すると、「デバイス選択」画面へ移動します。	
2	<p>「デバイス選択ポート」表示されます。</p> <p>表示されるデバイスのリストから設定したいドライバを選択してください。右側の「?」を選択するとドライバの情報が表示されます。設定したいデバイスがリストに表示されていない場合、「前ページ」、「次ページ」を選択し、ページを移動してください。設定後は「戻る」を選択してください。</p>	

10.4.4 Power Cycle


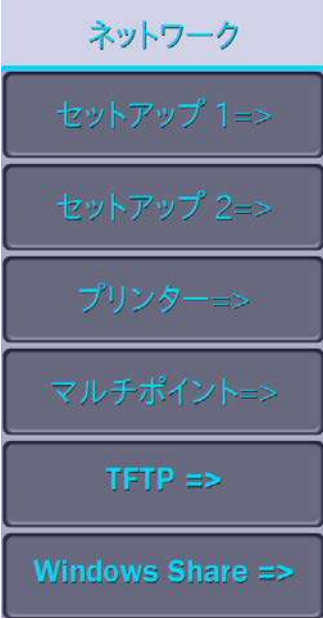
本機では一日に一回、自動で Power Cycle（再起動）することが可能です。Power Cycle の On/Off および Power Cycle の時間を設定できます。

【注意】 本機には、長時間電源を切断しない場合、「Power Cycle」を必ず「On」に設定してください。

番号	手順	使用例
1	「Power Cycle」を選択します。	
2		<p>自動再起動時間を設定します。</p> <p>例：毎日夜 10 時に自動で再起動を設定する場合、「10:00 PM」で設定します。デフォルトでは、「12:00 AM」に設定されています。</p> <p>自動再起動を On/Off します。</p> <p>デフォルトでは、On に設定されています。</p>

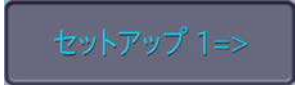
10.5 ネットワーク設定

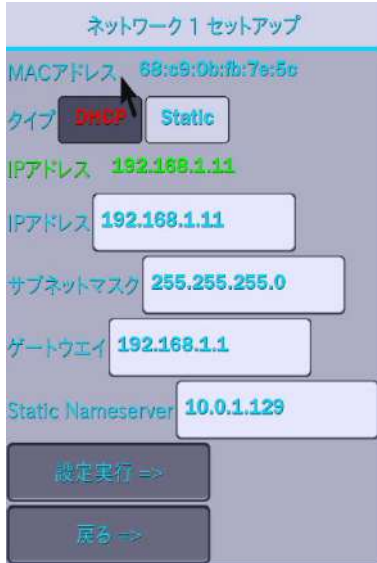
本機の IP アドレス、サブネットマスク及びデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。
また、TFTP サーバの各種設定を行います。

番号	手順	使用例
1	「ネットワーク設定」を選択します。	
2	「ネットワーク」で設定を行いたい項目を選択します。	
		
	セットアップ 1	LAN ポート 1 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を行います。
	セットアップ 2	LAN ポート 2 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を行います。
	プリンター	PostScript プリンターの IP アドレス、部数などの設定を行います。
	マルチポイント	マルチポイントサーバの接続を設定します。
	TFTP	TFTP サーバの IP アドレスとポート番号を設定します。
	Windows Share	<u>現バージョンでは対応していません。</u>

10.5.1 セットアップ 1

本機の LAN ポート 1 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を行います。

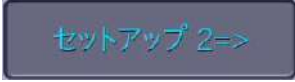
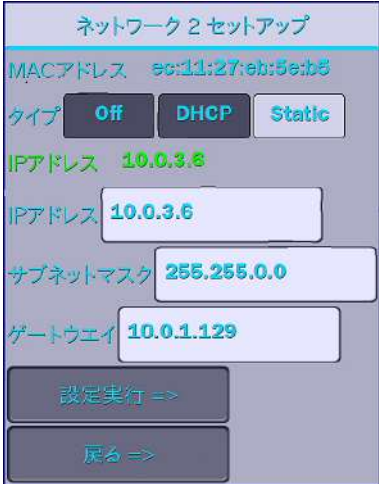
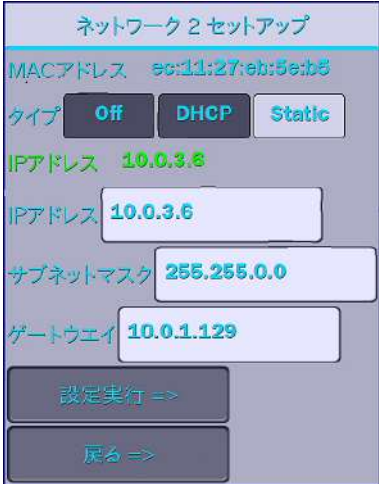
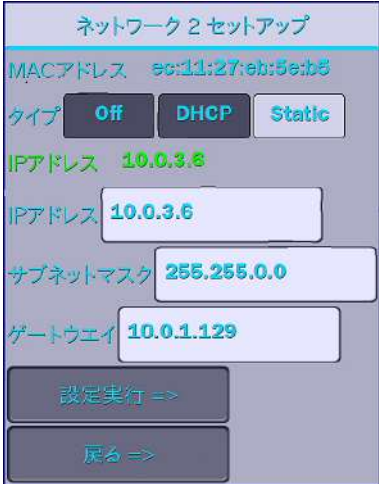
番号	手順	使用例																				
1	「セットアップ 1」を選択します。																					
2	「ネットワーク セットアップ」で各種設定を行います。	<table border="1"> <tr> <td>MAC アドレス</td> <td>LAN ポート 1 の MAC アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>LAN ポート 1 の IP アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>DHCP</td> <td>DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイは設定しなくても問題ありません。</td> </tr> <tr> <td>Static</td> <td>ネットワーク設定を固定します。出荷時設定は「Static」に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>IP アドレスを設定します。</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>サブネットマスクを設定します。</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイ</td> <td>ゲートウェイを設定します。</td> </tr> <tr> <td>Static Nameserver</td> <td><u>現バージョンでは対応していません。</u></td> </tr> <tr> <td>設定実行</td> <td>設定を有効にします。</td> </tr> <tr> <td>戻る</td> <td>前のページへ戻ります。</td> </tr> </table>	MAC アドレス	LAN ポート 1 の MAC アドレスを表示します。	IP アドレス	LAN ポート 1 の IP アドレスを表示します。	DHCP	DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイは設定しなくても問題ありません。	Static	ネットワーク設定を固定します。出荷時設定は「Static」に設定されています。	IP アドレス	IP アドレスを設定します。	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。	Static Nameserver	<u>現バージョンでは対応していません。</u>	設定実行	設定を有効にします。	戻る	前のページへ戻ります。
MAC アドレス	LAN ポート 1 の MAC アドレスを表示します。																					
IP アドレス	LAN ポート 1 の IP アドレスを表示します。																					
DHCP	DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイは設定しなくても問題ありません。																					
Static	ネットワーク設定を固定します。出荷時設定は「Static」に設定されています。																					
IP アドレス	IP アドレスを設定します。																					
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。																					
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。																					
Static Nameserver	<u>現バージョンでは対応していません。</u>																					
設定実行	設定を有効にします。																					
戻る	前のページへ戻ります。																					



10.5.2 セットアップ 2

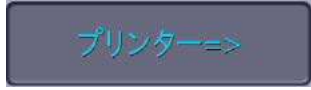
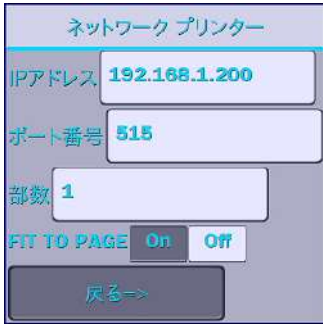
本機の LAN ポート 2 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定を行います。

【注意】 LAN ポート 1 と LAN ポート 2 を同じネットワークに接続する場合、LAN ポート 1 のみ有効されています。



番号	手順	使用例																					
1	「セットアップ 2」を選択します。																						
2	「ネットワーク セットアップ」で各種設定を行います。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10"></td> <td>MAC アドレス</td> <td>LAN ポート 2 の MAC アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>LAN ポート 2 の IP アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>Off</td> <td>LAN ポート 2 を無効にします。出荷時設定は「Off」に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>DHCP</td> <td>DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイを設定する必要はありません。</td> </tr> <tr> <td>Static</td> <td>ネットワーク設定を固定します。</td> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>IP アドレスを設定します。</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>サブネットマスクを設定します。</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイ</td> <td>ゲートウェイを設定します。</td> </tr> <tr> <td>設定実行</td> <td>設定を有効にします。</td> </tr> <tr> <td>戻る</td> <td>前のページへ戻ります。</td> </tr> </table>		MAC アドレス	LAN ポート 2 の MAC アドレスを表示します。	IP アドレス	LAN ポート 2 の IP アドレスを表示します。	Off	LAN ポート 2 を無効にします。出荷時設定は「Off」に設定されています。	DHCP	DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイを設定する必要はありません。	Static	ネットワーク設定を固定します。	IP アドレス	IP アドレスを設定します。	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。	設定実行	設定を有効にします。	戻る	前のページへ戻ります。
	MAC アドレス	LAN ポート 2 の MAC アドレスを表示します。																					
	IP アドレス	LAN ポート 2 の IP アドレスを表示します。																					
	Off	LAN ポート 2 を無効にします。出荷時設定は「Off」に設定されています。																					
	DHCP	DHCP を有効にします。DHCP を有効にする場合、下記の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイを設定する必要はありません。																					
	Static	ネットワーク設定を固定します。																					
	IP アドレス	IP アドレスを設定します。																					
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。																					
	ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。																					
	設定実行	設定を有効にします。																					
	戻る	前のページへ戻ります。																					

10.5.3 プリンター



プリンターの IP アドレスを設定します。
本機から出力した映像画面のキャプチャ画像をプリントすることができます。

番号	手順	使用例	
1	「プリンター」を選択します。		
2	プリンターウィンドウで各種設定を行います。		
		IP アドレス	プリンターの IP アドレスを設定します。デフォルト設定では 0.0.0.0 に設定されています。
		ポート番号	デフォルト設定では 515 に設定されています。
		部数	プリントの部数を設定します。
		FIT TO PAGE	「Off」に設定する場合、キャプチャした画像は元のアスペクトでプリントされます。 「On」に設定する場合、キャプチャした画像は紙のサイズに合うようにプリントされます。
	戻る	前のページに戻ります。	

10.5.4 マルチポイント

番号	手順	使用例	
1	「マルチポイント」を選択します。		
2	「マルチポイントサーバ」で各種設定を行います。		
		IP アドレス	本機の IP アドレス、またローカルホスト (127.0.0.1) で設定します。デフォルトでは 127.0.0.1 で設定されています。
		ポート番号	現バージョンでは対応していません。デフォルトでは 10001 で設定されています。
		接続開始	マルチポイント接続の設定を行います。

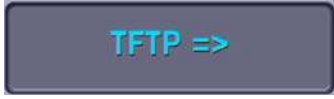

10.5.4.1. マルチポイント接続

番号	手順	使用例	
1	「接続開始」を選択します。		
2	「マルチポイントサーバ」で各種設定を行います。		
		User 名	ユーザ名を入力します。
		Meeting 名	マルチポイント Meeting 名を入力します。 ※最大 18 文字までで、使用できるのは英数字（大文字・小文字）のみとなります。 例：CPN6000
		パスワード	マルチポイント Meeting のパスワードを入力します。 ※最大 18 文字までで、使用できるのは英数字（大文字・小文字）のみとなります。 例：Meeting
		新規作成	マルチポイントの Meeting を作成します。 ※最大 18 文字までで、使用できるのは英数字（大文字・小文字）のみとなります。 例：Password123

10.5.5 TFTP

TFTP サーバの IP アドレスとポート番号を設定します。

TFTP サーバを使用して本機から出力した映像画面のキャプチャ画像を保存することができます。

番号	手順	使用例		
1	「TFTP」アイコンを選択します。			
2	TFTP ウィンドウで各種設定を行います。			
		<table border="1"> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>TFTP サーバの IP アドレスを設定します。デフォルト設定では 0.0.0.0 に設定されています。</td> </tr> <tr> <td>ポート番号</td> <td>TFTP サーバのポート番号を設定します。デフォルト設定では 69 に設定されています。</td> </tr> </table>	IP アドレス	TFTP サーバの IP アドレスを設定します。デフォルト設定では 0.0.0.0 に設定されています。
IP アドレス	TFTP サーバの IP アドレスを設定します。デフォルト設定では 0.0.0.0 に設定されています。			
ポート番号	TFTP サーバのポート番号を設定します。デフォルト設定では 69 に設定されています。			


10.6 アップデート

本機のアップデートを行うことができます。USB メモリを使用しアップデートを行います。

ただし、この機能はメンテナンス用のため、通常使用することはありません。

10.7 終了

メインメニューを終了します。

番号	手順	使用例
1	「終了」アイコンを選択します。	

11. 機能説明

ここでは、以下の機能の説明を行います。




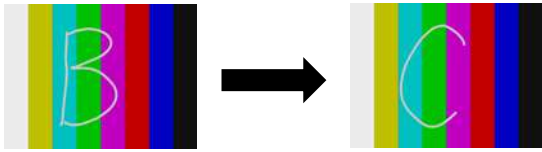
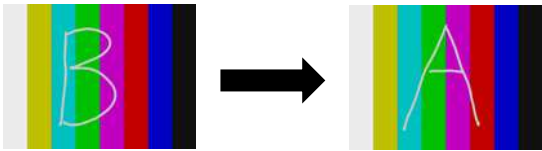
- オーバーレイ機能
- 静止機能
- 描画画像の保存・読み込み機能
- 描画画像のプリント
- PVI Control アプリ(iPad 描画)
- 初期化機能

11.1 オーバーレイ

本機には現在のオーバーレイ(描画内容)を保持したまま、新たな描画が可能です。
描画内容は3つまで保持可能です。
デフォルトではオーバーレイ1が選択されています。

※ **消しゴム** (P.26)や **全消去** (P.30)は現在選択しているオーバーレイに対して実行されます。(違うオーバーレイの描画内容が取り消されたり、全消去されることはありません。)

【注意】 この機能を使用するには、USB キーボードが必要です。

操作		状態		
オーバーレイ2が選択されています。		オーバーレイ1	オーバーレイ2 現在選択中	オーバーレイ3
				
キーボードの「Page Up」を押します。	次のオーバーレイに移動します。	オーバーレイ2選択中の場合、オーバーレイ3に切り替えます。		
				
キーボードの「Page Down」を押します。	前のオーバーレイに移動します。	オーバーレイ2選択中の場合、オーバーレイ1に切り替えます。		
				

11.2 静止

本機は入力された映像を静止させることができます。


本機で映像を静止させた場合、オーバーレイが切り換わり、静止用のオーバーレイが表示されます。静止前のオーバーレイは保存されており、静止を解除すると、再び表示されます。静止中も、ソース機器から常に映像が出力されているため、静止を解除した際、現時点の映像が表示されます。映像そのものを静止する場合は、ソース機器の設定を変更してください。^{※1}

※1 ブルーレイの映像を本機に入力している場合、ブルーレイプレイヤー側の一時停止などで対応します。


・ 静止の動き

時間軸	本機に入力された映像	入力側説明	本機から出力されている映像	出力側説明
↓	1		①	円形が描画されています。
	2		②	静止します。 (「Alt」 + 「F1」 を押します。)
	3	入力映像は静止しません。	2	静止用オーバーレイに切り換ります。
	4		②	四角形を描画します。 その後、静止解除します。 (「Alt」 + 「F1」 を押します。)
	5		⑤	静止前のオーバーレイに切り換ります。

・ 映像の静止

番号	手順	使用例
1	キーボードの「Alt」 + 「F1」 キーを押します。	
2	出力映像が1度、暗転します。その後静止した映像が表示され、描画されていた場合は、描画内容が再描画されます。画面の右下に一定時間「FGIMG0」と表示されます。	

・ 映像の静止解除

番号	手順	使用例
1	キーボードの「Alt」 + 「F1」 キーを押します。	
2	出力映像が1度、暗転します。その後映像が表示され、描画されていた場合は、描画内容が再描画されます。画面の右下に一定時間「5 HDMI」と表示されます。	

11.3 描画画像の保存 / 読み込み

本機では描画した画像を保存することができます。そして、その保存された画像を読み込み、表示することができます。


【注意】この機能を使用するには、市販の USB キーボードが必要です。

11.3.1 画像保存及び接続方法

「USB メモリ」と「LAN 接続された PC」の 2 つの方法で保存することができます。保存形式は、ビットマップファイルの 24bit True Color で、解像度は 1920×1080 となります。以下に接続方法を記載します。

【注意】 HDCP によるコンテンツが保護されている映像を保存することはできません。

・ 「USB メモリ」を使用した方法

番号	手順	使用例
1	本体フロントにある USB コネクタに USB メモリを挿し込みます。	

・ 「LAN 接続された PC」を使用した方法

番号	手順	使用例
1	PC に LAN ケーブルを接続し、本機の背面にある LAN コネクタと接続します。	

【USB メモリ使用上の注意事項】

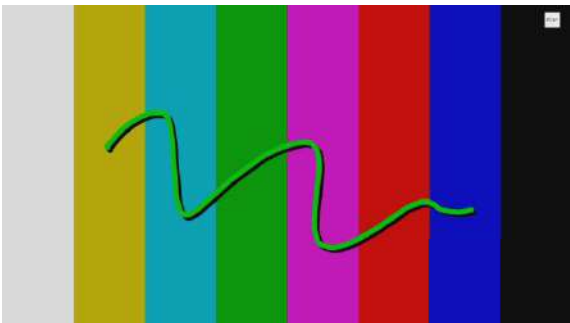
- ・ USB メモリを本機と接続する場合、接続する USB メモリは 1 つのみにしてください。
- ・ 複数のポートを持つメモ리카ードリーダーを通しての接続はできませんのでご注意ください。
- ・ 使用する USB メモリは FAT16 または FAT32 形式でフォーマットされている必要があります。
- ・ 使用する前に USB メモリのデータのバックアップを必ず行ってください。
- ・ 画像保存/読み込み中に USB メモリの抜き差しは行わないでください。
- ・ USB メモリへ保存されたデータが消失・破損したことによる被害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了解ください。
- ・ USB メモリの故障に関しましても一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

11.3.2 画像保存手順



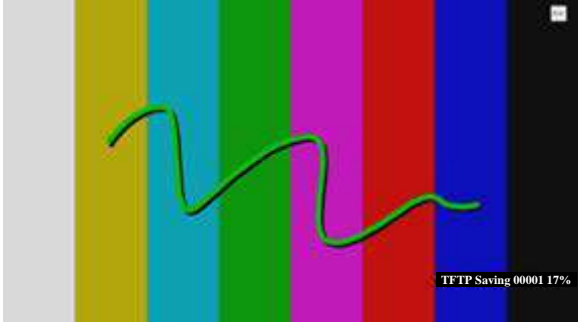
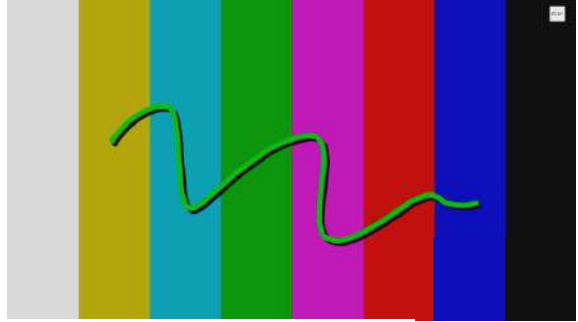
【注意】画像を保存する USB メモリの空き容量が、保存するビットマップファイルよりも少ない場合、画像の保存を行えません。空き容量の十分ある USB メモリをご使用ください。

(1920×1080p の解像度で画像を保存した場合、保存したファイルのサイズは約 6 MByte となります。)

・ USB メモリを使用した保存手順

番号	手順	使用例
1	本体フロントにある USB コネクタに USB メモリを挿し込みます。	
2	キーボードの「Alt」+「F2」キーを押します。	
3	現在の描画内容が再描画され、画面右下に進行状況が表示され、画像の保存を開始します。画像保存中は、描画や、本機の手操作、ケーブルや、USB メモリの抜き差しは行わないでください。	
4	保存状況が 100% となり、画面右下の表示が消えると、画像の保存は終了です。	

・ TFTP(LAN)を使用した保存手順



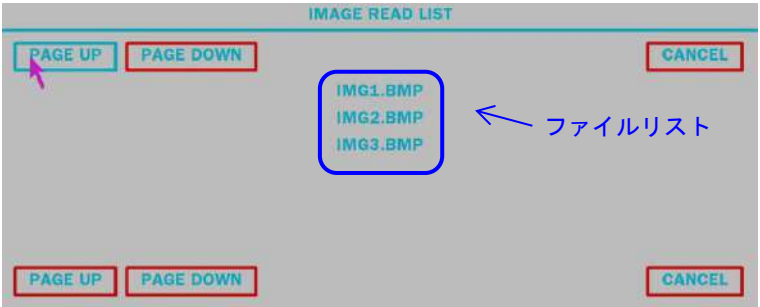
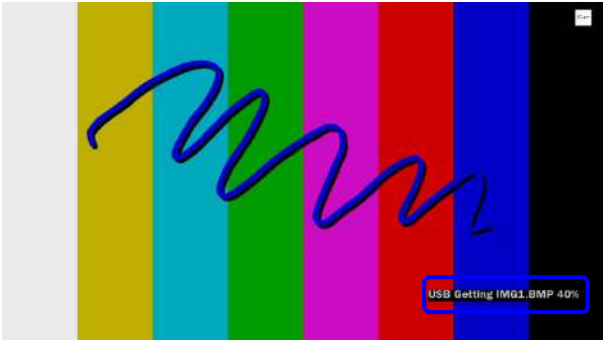
番号	手順	使用例
1	<p>本体リアにあるLANコネクタにLANケーブルを接続し、TFTPサーバあるPCに接続します。</p>	
2	<p>キーボードの「Alt」+「F6」キーを押します。</p>	
3	<p>現在の描画内容が再描画されます。その後画面右下に進行状況が表示され、画像の保存が開始されます。画像保存中は、描画や、本機の手操作、ケーブルの抜き差しは行わないでください。</p>	
4	<p>保存状況が100%となり、画面右下の表示が消えると、画像の保存は終了となります。</p>	

11.3.3 画像読み込み手順

本機は USB メモリに保存した描画画像の読み込みができます。

読み込み可能な形式はビットマップファイル形式の 24bit True Color で、解像度は 1920×1080 となります。

画像読み込み手順

番号	手順	使用例
1	本体フロント / リアにある USB コネクタに USB メモリを挿し込みます。	
2	キーボードの「Alt」+「F3」キーを押します。	
3	<p>「IMAGE READ LIST」が表示されます。ここでは、USB メモリに保存された画像ファイルのリストが表示されます。</p> <p>ファイルリストの中から読み込む画像を選択してください。目的のファイルが表示されていない場合、「PAGE UP」及び「PAGE DOWN」を選択し、ページ移動してください。</p> <p>読み込みを中止する場合は「CANCEL」を選択してください。</p>	
4	<p>画面右下に進行度が記載されます。この進行度が 100%になると、画像読み込み完了です。</p> <p>読み込み中は本機のコピー及び、USB メモリの抜き差しは行わないでください。</p>	

【注意】画像を読み込んだ状態のオーバーレイと、静止された状態のオーバーレイは、共有となっています。そのため、画像を読み込むと、静止状態のオーバーレイが表示されますのでご注意ください。

※ 対応フォーマット(24bit True Color)以外のビットマップファイルを読み込もうとすると、「ディスク転送失敗: ビットマップファイルにエラーがあります」と表示されます。読み込もうとしている画像ファイルの形式をご確認ください。



[図 11-1] 読み込みエラー画面

11.3.4 画像読み込み解除手順

画像を読み込んでいる状態を解除します。


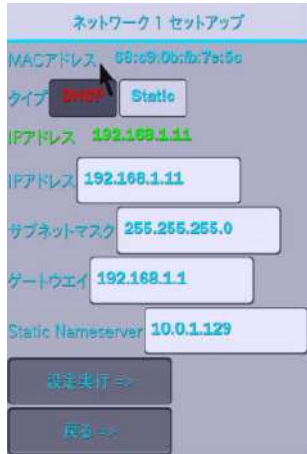

<p>1 キーボードの「Alt」 + 「F1」キーを押します。</p> <p>出力した映像が1度暗転し、映像が表示され、画面右下に一定期間「5 HDMI」と表示されます。</p>	
---	--

11.4 描画画像のプリント

本機から出力した映像画面のキャプチャ画像をプリントすることができます。

【注意】 HDCP によってコンテンツが保護されている映像は、保存することができません。
使用プリンターは、PostScript に対応している必要があります。

11.4.1 プリンターとの接続方法

番号	手順	使用例
1	PostScript 対応プリンターと本機の背面にある LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。	 <p>PostScript プリンター</p>
2	CPN-6000 のネットワーク設定を行います。 参考：10.5.1 セットアップ 1 (P.61)	
3	CPN-6000 にプリンター設定を行います。 ・「IP アドレス」を記入します。 ・「部数」を記入します。 ・「FIT TO PAGE」を選択します。 参考：10.5.3 プリンター (P.63)	

11.4.2 描画画像のプリント手順

番号	手順	使用例
1	<p>PostScript 対応プリンターと本機の背面にある LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。</p>	 <p>PostScript プリンター</p>
2	<p>キーボードの「Alt」+「F4」キーを押します。</p> <p>また、シリアルコマンドやタッチエリアなどでも、プリントすることができます。</p>	
3	<p>現在の描画内容が再描画されます。その後画面右下に進行状況が表示され、画像のプリントが開始されます。</p> <p>画像プリント中は、描画や、本機の使用、ケーブルの抜き差しは行わないでください。</p>	
4	<p>プリント状況が 100% となり画面右下の表示が消えると、画像のプリントは終了となります。</p>	

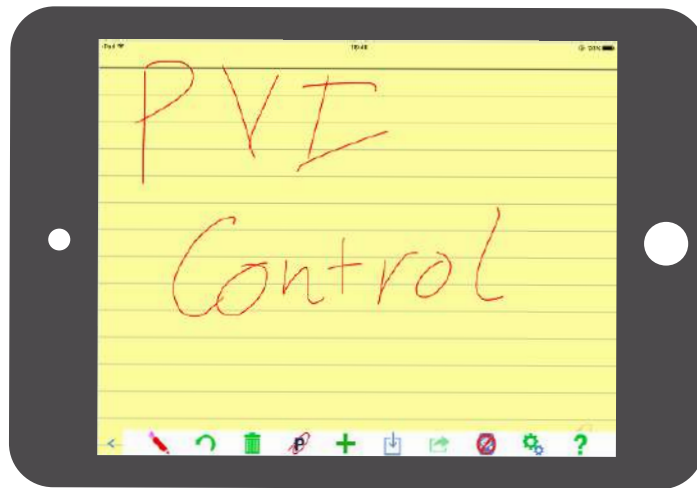
11.5 PVI Control (iPad 描画)

11.5.1 PVI Control について

PVI Control アプリケーションは iPad のアプリケーションです。無料で Apple Store からダウンロードできます。
PVI Control アプリケーション : <https://itunes.apple.com/us/app/pvi-control/id805660440?ls=1&mt=8>

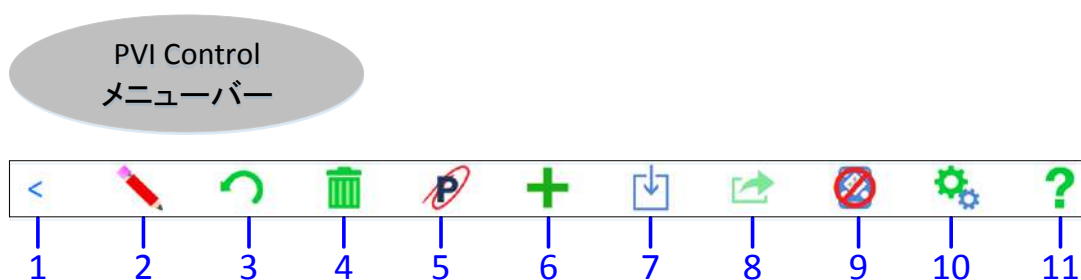
PVI Control では背景画面を CPN-6000 出力に共有することができます。また、CPN-6000 出力映像をキャプチャして、PVI Control 画面に表示することができます。さらに、CPN-6000 の入力映像を PVI Control 画面でストリーミングし、ユーザはストリーミングされる映像を見ながら、描画することもできます。

PVI Control アプリケーションでストリーミングを対応 iPad は iPad3, iPad4, iPad mini と iPad Air です。



[図 11-1] PVI Control 画面

PVI Control の画面下にメニューバーが表示されます。ここで、各種操作を行います。



[図 11-2] PVI Control メニューバー

メニュー項目 ※1

説明

1	メニューバーを表示・非表示に切替えます。
2	描画・ハイライト・消しゴムモードを切替し、描画時の色および太さを設定することができます。
3	描画や消去などの直前の操作を取り消すことができます。
4	現在、描画されている内容を全て消去することができます。
5	CPN-6000 の制御画面（入力切替やキャリブレーションなど）を表示することができます。
6	PVI Control の背景画像を選択することができます。
7	現在、PVI Control での描画されている画像を iPad に保存することができます。
8	PVI Control の背景画像を CPN-6000 の出力に表示したり、CPN-6000 の入力映像をキャプチャして PVI Control の画面に表示したりすることができます。 ※2
9	CPN-6000 に接続（IP アドレスやパスワードなど）を設定することができます。
10	PVI Control での描画している内容を CPN-6000 と共有するか否かを設定することができます。
11	PVI Control アプリケーションの使い方の説明画面を表示します。

※1 現バージョンではメニューの言語は英語のみ対応しています。

※2 HDCP によるコンテンツが保護されている映像を保存することはできません。

11.5.1.1. メニュー表示

メニューバーを表示/非表示を切り換えます。

使用環境に合わせて、メニューバーを表示するか、非表示にするかを設定できます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「矢印」アイコンを選択します。 「矢印」アイコンのみ表示される場合は、選択することでメニューを一覧で表示することができます。メニューの一覧が表示されている状態で「矢印」アイコンを選択すると、「矢印」アイコンのみの表示に切り換わります。		 一覧表示 「矢印」アイコン表示

11.5.1.2. 描画設定

描画する線の色・ハイライト色および線の幅を設定します。

また、描画した部分を削除することもできます。

描画設定アイコンを選択すると、描画設定一覧が表示されます。




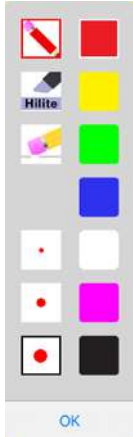
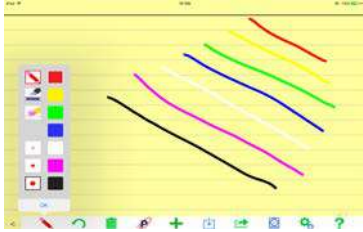






【注意】描画設定アイコン表示では、描画する線の色の設定を選択されている場合、メニューバーで「」

を表示されます。ハイライトの色の設定を選択されている場合は、メニューバーで「」を表示さ

れます。また消しゴムの設定を選択されている場合には、メニューバーで「」を表示されます。

デフォルト設定では、描画する線の色のアイコン「」が表示されます。

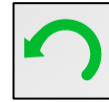
番号	手順	アイコン	使用例
1	描画設定アイコンを選択します。 サブメニューが表示されます。	 	

<p>2</p>	<p>描画する線の色を設定する場合、「</p> <p>アイコンを選択します。</p> <p>任意の線色を選択します。</p> <p>[小] [中] [大]より、線の大きさを選択します。</p> <p>「OK」を選択すると、設定した線色と大きさで描画できます。</p>		
<p>3</p>	<p>ハイライト色を設定する場合、「</p> <p>アイコンを選択します。</p> <p>任意のハイライト色を選択します。</p> <p>[小] [中] [大]より、線の大きさを選択します。</p> <p>「OK」を選択すると、設定したハイライトの線色と大きさで描画できます。</p>		
<p>4</p>	<p>描画した部分を削除する場合、「</p> <p>アイコンを選択します。</p> <p>[小] [中] [大]より、線の大きさを選択します。</p> <p>「OK」を選択すると、設定した消しゴムの大きさを削除できます。</p>		

【注意】ハイライト色を設定する場合、「黄」・「緑」・「ピンク」の以外にCPN-6000が対応していないため、「黒」で表示されます。
 現バージョンでは、CPN-6000での描画した図形をPVI Control画面で共有することはできません。

11.5.1.3. 取消

描画や消去などの直前の操作を取り消しことができます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「取消」アイコンを選択します。 描画や消去などの直前の操作を取り消します。		<p>取消前</p> <p>取消後</p>

11.5.1.4. 全消去

描画した内容を全消去することができます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「全消去」アイコンを選択します。 メッセージボックスが表示されます。		<p>全消去前</p>
2	「Clear」を選択すると、描画した内容を全消去されます。 「Cancel」を選択すると、PVI Control 画面に戻ります。		<p>全消去後</p>




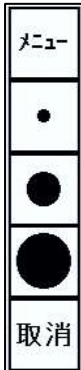

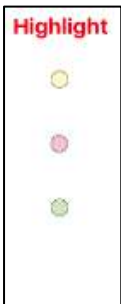
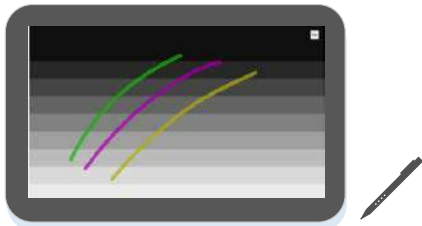
【注意】 現バージョンでは、CPN-6000 で（タブレット・マウス・キーボード）全消去する場合、PVI Control で描画した内容の全消去はできません。

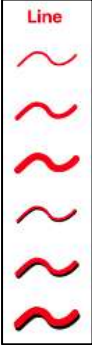
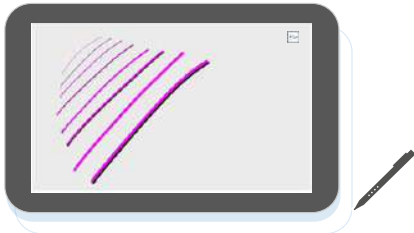

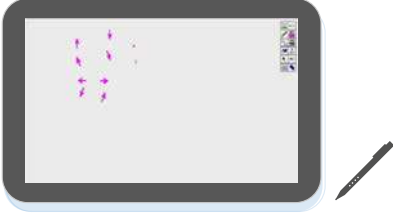


11.5.1.5. コントロールパネル

PVI Control で CPN-6000 を制御（線色やキャリブレーションなど）することができます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	<p>「コントロールパネル」アイコンを選択します。</p> <p>「Pointermarker Control Panel」が表示されます。</p>		
2	<p>「Command」一覧メニューでは CPN-6000 に基本制御を行うことができます。</p> <p>「Display Menu」を選択すると、CPN-6000 出力の映像にメインメニューが表示されます。</p> <p>メインメニューを表示されている際は、PVI 画面での表示されたパネルで CPN-6000 のメニューを選択・ポインタ移動・終了することができます。</p> <p>「Print Image」を選択すると、CPN-6000 出力に表示されている映像を印刷します。</p> <p>「Save Image」を選択すると、CPN-6000 出力に表示されている映像を USB メモリに保存します。</p> <p>「Freeze Video」を選択すると、CPN-6000 出力に表示されている映像を静止します。</p> <p>「Calibrate Screen」を選択すると、CPN-6000 にキャリブレーションが行われます。</p>	<p>Command</p> <ul style="list-style-type: none"> Display Menu Print Image Save Image Freeze Video Calibrate Screen Edit Source Labels Volume 	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 20px;"> <p>1: 移動</p> <p>2: 選択</p> <p>3: 終了</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">キャリブレーション画面</p>

	<p>「Edit Source Labels」を選択すると、ソース名の編集サブメニューが表示されます。このメニューではソース名を編集することができます。</p> <p>「Volume」を選択すると、音声レベル設定のサブメニューを表示されます。このメニューではCPN-6000 出力音声のレベルを設定することができます。</p>		<p>ソース名前編集メニュー</p>  <p>出力音声レベル設定メニュー</p> 
<p>3</p>	<p>「Source」一覧メニューではCPN-6000 の入力を切換することができます。</p>		
<p>4</p>	<p>「Color」一覧メニューではCPN-6000 のマウス・タブレット描画の線の色を設定することができます。</p> <p>色を選択すると、タブレット・マウスで設定した色で描画できます。</p>		<p>タブレットでの線色</p> 
<p>5</p>	<p>「Highlight」一覧メニューではCPN-6000 のマウス・タブレット描画のハイライト色を設定することができます。</p> <p>「黄」・「ピンク」・「緑」から選択すると、タブレット・マウスで設定した色でハイライトできます。</p>		<p>タブレットでのハイライト</p> 



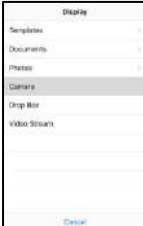


<p>6</p>	<p>「Line」一覧メニューでは CPN-6000 のマウス・タブレット 描画の線の幅を設定することができます。</p> <p>大きさを選択すると、タブレット・マウスで設定した大きさで描画できます。</p>		<p>タブレットでの線幅</p> 
<p>7</p>	<p>「Pointer」一覧メニューでは CPN-6000 のマウス・タブレットのポインタの種類を設定することができます。</p> <p>ポインタを選択すると、タブレット・マウスで設定したポインタ種類で描画できます。</p>		<p>タブレットでのポインタ種類</p> 
<p>8</p>	<p>「Exit」メニューを選択すると、コントロールパネルを終了します。</p>		

11.5.1.6. 背景設定

PVI Control 画面の背景を設定することができます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「背景」アイコンを選択します。 背景の一覧メニューを表示されます。		
2	「Templates」メニューを選択する場合、ホワイトボード・ノートペーパー・チョークボードの背景を設定することができます。		<p>ホワイトボード </p> <p>ノートペーパー </p> <p>チョークボード </p>
3	「Document」メニューを選択する場合、ドキュメント一覧メニューを表示されます。 任意ドキュメントを選択し、PVI Control 画面に表示できます。 ※事前ドキュメントを PVI に登録する必要があります。		<p>ドキュメント背景</p>

<p>4</p>	<p>「Photos」メニューを選択すると、iPad 中にある写真を選択して、PVI Control 画面に表示できます。</p>		<p>iPad の写真背景</p> 
<p>5</p>	<p>「Camera」メニューを選択すると、iPad のカメラから写真を撮り、撮った写真を PVI Control 画面に表示できます。</p>		
<p>6</p>	<p>「Dropbox」メニューを選択すると、iPad での Dropbox アプリにアクセスして、Dropbox 中にあるファイルを選択し、PVI Control 画面に表示できます。</p>		<p>Dropbox のファイル背景</p> 
<p>7</p>	<p>「Video Stream」メニューを選択すると、CPN-6000 からストリーミング映像を表示できます。</p> <p>※事前 CPN-6000 での設定が必要です。</p>		<p>映像ストリーミング背景</p> 

11.5.1.7. 保存

PVI Control の画面および描画した内容を iPad に保存することができます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	「保存」アイコンを選択します。 メッセージボックスを表示されます。		
2	「Save」を選択すると、PVI の画面および描画した内容を iPad に保存されます。		

11.5.1.8. 画像共有

PVI Control 画面を CPN-6000 出力で共有することができます。

また、CPN-6000 出力映像をキャプチャして、

PVI Control 画面に表示することもできます。








番号	手順	アイコン	使用例
1	「共有」アイコンを選択します。 サブメニューを表示されます。		
2	「Send to Pointmaker」を選択すると、PVI Control 画面を CPN-6000 の出力と共有します。 「Get from Pointmaker」を選択する場合、CPN-6000 出力映像をキャプチャして、PVI Control 画面に表示されます。		<p>PVI 画面を CPN-6000 に共有</p> <p>CPN-6000 出力映像をキャプチャ</p>

【注意】HDCP によるコンテンツが保護されている映像を PVI Control にキャプチャすることはできません。

11.5.1.9. 接続設定

CPN-6000 に接続設定を行います。




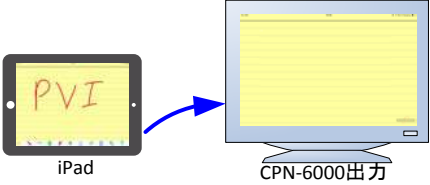
番号	手順	アイコン	使用例
1	「接続」アイコンを選択します。 サブメニューが表示されます。		
2	「Name」と「Password」メニューでは CPN-6000 でのマルチポイントサーバの「Meeting 名前」と「パスワード」を記入します。 参考：10.5.4.1 マルチポイント接続 (P.64) IP アドレスでは CPN-6000 の IP アドレスを記入します。 「Connect」メニューを選択すると、接続の設定を実行します。 「Exit」メニューを選択すると、接続を終了します。		<p>CPN-6000 に接続しています。</p>  <p>CPN-6000 に接続していません。</p> 

11.5.1.10. 描画共有設定

描画するとき、描画内容や取消などを共有するかどうかを設定することができます。





番号	手順	アイコン	使用例
1	「設定」アイコンを選択します。 サブメニューが表示されます。		

<p>2</p>	<p>「Auto Save」メニューでは、CPN-6000 からキャプチャした画像を PVI 画面に表示する際、キャプチャの直前の描画データと背景を PVI Control 現画面に自動で保存します。</p> <p>「Share Marks」メニューでは、描画する内容を PVI Control アプリと CPN-6000 共有するかの設定ができます。</p> <p>「Share Clear」メニュー、現バージョンでは対応していません。</p> <p>「Share Undo」メニューでは、取消を PVI Control アプリと CPN-6000 で共有するかを設定できます。</p>		<p>「Share Marks」を無効する場合</p> 
----------	--	---	--

11.5.1.11. ヘルプ

PVI アプリの使い方の説明を表示できます。



番号	手順	アイコン	使用例
1	<p>「ヘルプ」アイコンを選択すると、PVI Control アプリの使い方の説明画面を表示されます。</p>		<p>説明画面</p> 


11.5.1.12. ドキュメント登録

PVI Control 画面の背景を設定する際にドキュメントの背景を設定する場合、事前にドキュメントを PVI Control アプリに登録する必要があります。

現バージョンでは「.pdf」ファイルのみ対応しています。

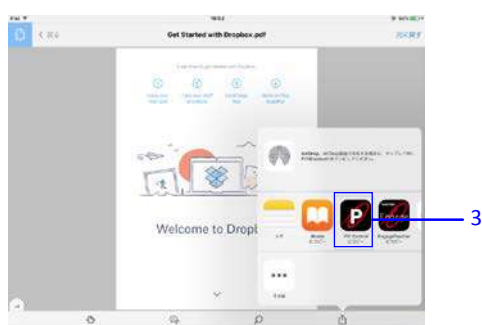
「Adobe Acrobat」からファイルを登録する場合、「Adobe Acrobat」でファイルを開くことが可能です。



1- 「Adobe Acrobat」画面で共有アイコン () を選択します。

2- 「次の方法で開く」を選択します。

3- サブメニューで「PVI Control」アイコンを選択します。



「PVI Control」を選択した場合、PVI 背景のドキュメントメニューで、登録したファイルが表示されます。

11.5.2 PVI Control アプリケーション

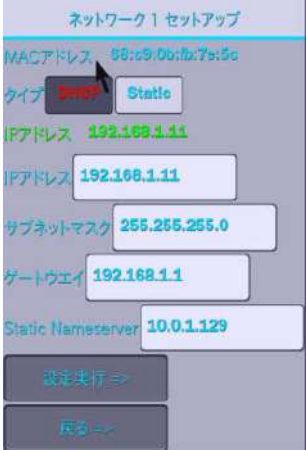


本章では、以下の説明を行います。



- PVI Control と CPN-6000 の接続方法
- PVI Control から CPN-6000 に写真など共有
- PVI Control から CPN-6000 出力映像のキャプチャ
- PVI Control で CPN-6000 出力映像のストリーミング表示

11.5.2.1. CPN-6000 との接続

CPN-6000 と PVI Control アプリの接続の設定手順について説明します。

番号	手順	使用例
1	無線ハブに LAN ケーブルを接続し、本機の背面にある LAN コネクタと接続します。 iPad には無線ネットワークで接続します。	

<p>2</p>	<p>CPN-6000 のネットワーク設定をします。 参考：10.5.1 セットアップ 1 (P.61)</p>	
<p>3</p>	<p>CPN-6000 にマルチポイント設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「User 名」を記入します。 ・「Meeting 名」を記入します。 ・「パスワード」を記入します。 ・「新規作成」を選択します。 <p>参考：10.5.4.1 マルチポイント接続 (P.64)</p>	
<p>4</p>	<p>CPN-6000 に「Encoder」設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Encoder」を「Enable」にします。 ・「Type」を「Telnet」に設定します。 ・「Play」を「On」にします。 ・「640×480」解像度を設定します。 ・「設定実行」を選択します。 <p>※ストリーミング使用しない場合、「Encoder」設定は不要となります。</p> <p>※現バージョンではストリーミング解像度は 640×480 のみ対応しています。</p> <p>参考：10.3.2 Encoder (P.53)</p>	

<p>5</p>	<p>PVI Control アプリの接続設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」では、CPN-6000 マルチポイントでの設定した「Meeting 名」を記入します。 ・「Password」では、CPN-6000 マルチポイントでの設定した「パスワード」を記入します。 ・「IP Address」では、CPN-6000 の IP アドレスを記入します。 ・「Connect」を選択します。 <p>※接続は成功した場合、PVI の「接続」アイコンが「」アイコンになります。</p> <p>参考：11.5.1.9 接続設定 (P.86)</p>	
----------	--	--

【注意】ストリーミングを使用する場合、1000Base-T 以上有線ルータと 2.4GHz 無線ハブをご使用してください。

映像入力 (P.39) を「自動認識」に設定されているとき、Encoder は有効できません。Encoder を有効する場合、必ず映像入力を「自動認識」以外に設定してください。

11.5.2.2. PVI 画面背景共有


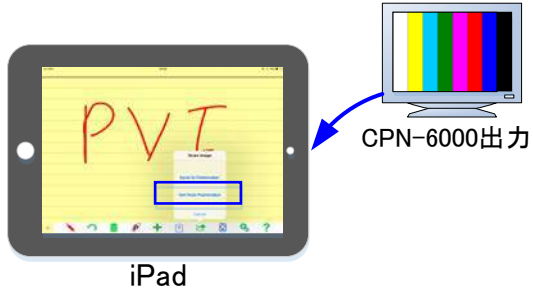
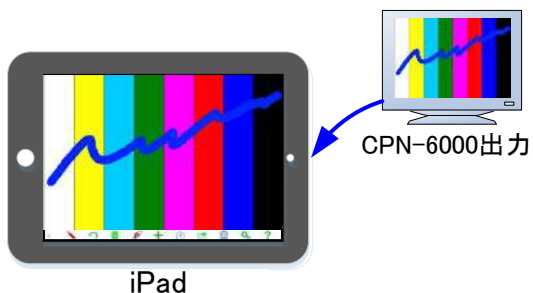
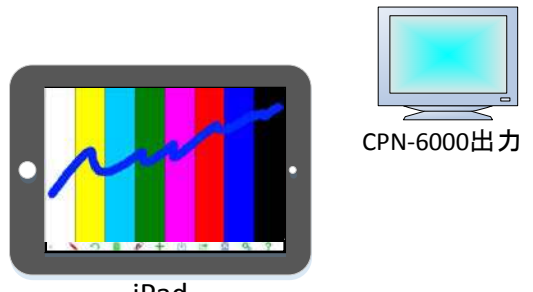
iPad の中にある写真やドキュメントなど、CPN-6000 出力に共有することができます。そして、PVI Control で描画する内容およびタブレットで描画する内容は PVI Control 画面とタブレットで表示することができます。

番号	手順	使用例
<p>1</p>	<p>iPad の中にある写真やドキュメントなどを PVI Control 画面背景に設定します。</p> <p>参考：11.5.1.6 背景設定 (P.83)</p>	<p>写真背景</p> 

<p>2</p>	<p>PVI Control の「画像共有」 () アイコンを選択します。 「Send to Pointmaker」を選択します。</p> <p>PVI Control の背景が CPN-6000 出力に共有されます。</p> <p>※PVI Control 背景のみ共有されます、描画した内容を共有できません。</p>	<p>背景共有</p>  <p>CPN-6000出力</p> <p>iPad</p>
<p>3</p>	<p>PVI Control アプリで描画する内容を CPN-6000 の出力に共有することができます。</p> <p>CPN-6000 に接続しているタブレットやマウスで描画する内容を PVI Control 画面に表示することができます。</p>	<p>描画内容共有</p>  <p>CPN-6000出力</p> <p>iPad</p>
<p>4</p>	<p>CPN-6000 で PVI Control 画面が共有されている状態を解除する場合、CPN-6000 に接続しているキーボードの「Alt」+「F1」キーを押してください。また、PVI Control での「コントロールパネル」で、「Freeze Video」メニューを選択すると解除することができます。</p> <p>参考: 11.5.1.5 コントロールパネル (P.80)</p>	<p>共有状態解除</p>  <p>CPN-6000出力</p> <p>iPad</p>

11.5.2.3. CPN-6000 出力映像キャプチャ・表示

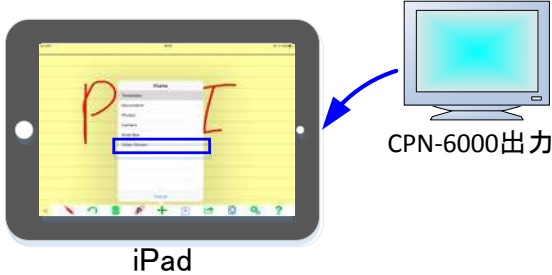
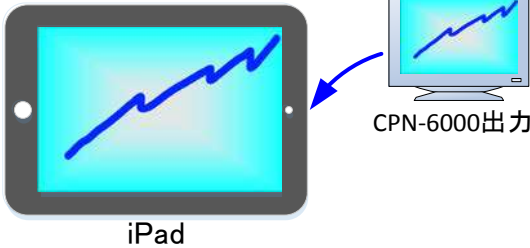
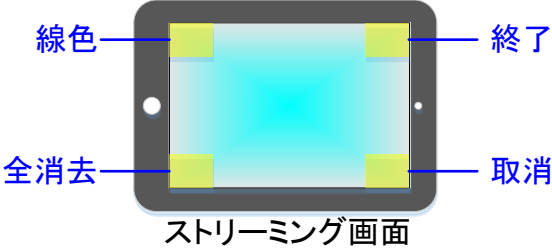
PVI Control で CPN-6000 出力映像をキャプチャすることができます、キャプチャした画像は PVI Control 画面、および CPN-6000 出力に表示されます。また、PVI Control での描画した内容およびタブレットでの描画した内容は PVI Control 画面とタブレットで表示することができます。

番号	手順	使用例
1	<p>PVI Control の「画像共有」 () アイコンを選択します。 「Get from Pointmaker」を選択します。</p> <p>CPN-6000 出力映像をキャプチャし、PVI Control 画面および CPN-6000 出力に表示します。</p> <p>※CPN-6000 出力映像のみキャプチャされます。描画した内容のキャプチャはできません。</p>	<p style="text-align: center;">CPN-6000 出力映像キャプチャ</p>  <p style="text-align: center;">iPad</p>
2	<p>PVI Control アプリで描画する内容を CPN-6000 の出力と共有することができます。</p> <p>CPN-6000 に接続しているタブレットやマウスで描画する内容を PVI Control 画面に表示することができます。</p>	<p style="text-align: center;">描画内容共有</p>  <p style="text-align: center;">iPad</p>
3	<p>CPN-6000 でキャプチャされている状態を解除する場合、CPN-6000 に接続しているキーボードの「Alt」 + 「F1」キーを押してください。また、PVI Control での「コントロールパネル」で、「Freeze Video」メニューを選択すると解除することができます。</p> <p>参考：11.5.1.5 コントロールパネル (P.80)</p>	<p style="text-align: center;">キャプチャ状態解除</p>  <p style="text-align: center;">iPad</p>

11.5.2.4. CPN-6000 出力映像ストリーミング

PVI Control では、CPN-6000からストリーミングされる映像を受けて、iPad画面に表示することができます。

※ストリーミングする場合、CPN-6000の「Encoder」設定が必要です。参考：CPN-6000との接続 (P.88)

番号	手順	使用例
1	<p>PVI Controlの「背景」(+)アイコンを選択し、「Video Stream」を選択します。</p> <p>CPN-6000出力映像がiPad画面に表示されます。</p> <p>※CPN-6000出力映像のみストリーミングされます。描画した内容はストリーミングできません。</p>	<p>ストリーミング映像表示</p>  <p>iPad</p> <p>CPN-6000出力</p>
2	<p>PVI Controlアプリで描画する内容をCPN-6000の出力と共有することができます。</p> <p>CPN-6000に接続しているタブレットやマウスで描画する内容をPVI Control画面に表示することができます。</p>	<p>CPN-6000出力映像ストリーミング</p>  <p>iPad</p> <p>CPN-6000出力</p>
3	<p>ストリーミングしている状態で、PVI Controlメニューバーは非表示になります。iPad画面には4つタッチエリア(線色・全消去・取消・終了)があります。</p>	<p>ストリーミングタッチエリア</p>  <p>線色</p> <p>終了</p> <p>全消去</p> <p>取消</p> <p>ストリーミング画面</p>

【注意】 HDCPによるコンテンツが保護されている映像をPVI Controlにストリーミングすることはできません。

ストリーミングする前に、必ず、CPN-6000に接続およびCPN-6000の「Encoder」を設定してください。

ストリーミングを一度終了した後に再度ストリーミングする場合、うまく表示されないことがあります。うまく表示されない場合は、PVI Controlアプリを再起動してください。

11.6 初期化

本機を初期化します。

1	<p>キーボードの「Ctrl」+「Alt」+「End」キーを押します。 本機が再起動し、ネットワーク設定以外、全て初期化されます。</p>	
---	---	--

【注意】 1度初期化を行うと、それまで使用していた設定に戻すことはできませんので、ご注意ください。
また、キャリブレーション結果も初期値に戻るため、再度キャリブレーションを行う必要があります。

【注意】 初期化の後にタッチエリアを「ON」に設定されています、現バージョンではタッチエリアに対応していませんので、必ずタッチエリアを「OFF」に設定してください。

タッチエリア設定方法：

- ① キーボードやマウスでメインメニューを開きます。
- ② メインメニューから「表示設定」を選択し、「タッチエリア設定」を選択します。
- ③ タッチエリア設定画面で「Touch Areas」を「OFF」に選択します。
- ④ 「戻る⇒」を選択し、メインメニューで「終了」を選択し、設定完了します。

12. 製品仕様

型番		CPN-6000	
入力信号	映像	HDMI / DVI	5 系統 HDCP 対応 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン) (注 1) 対応解像度 : VGA (640x480) / SVGA (800x600) / XGA (1024x768) / WXGA (1280x800) / SXGA (1280x1024) / WXGA (1360x768) / WXGA+ (1440x900) / WSXGA+ (1680x1050) / 480p@59.94Hz / 720p@50Hz / 720p@59.94Hz / 720p@60Hz / 1080p@50Hz / 1080p@59.94Hz / 1080i@59.94Hz / 1080i@60Hz / 1080p@60Hz
		アナログ	2 系統 VBS 信号 (Y/C 信号の場合は 1 系統) 兼用コネクタ VBS 信号 (コンポジットビデオ) / 1.0Vp-p / 75Ω Y/C 信号 Y:1.0Vp-p / 75Ω C:0.286Vp-p / 75Ω NTSC@15.734KHz PAL@15.675KHz コネクタ:BNC コネクタ
			2 系統 RGB 信号 RGB 信号 : 0.7Vp-p/75Ω 同期信号 : TTL レベル コネクタ : 高密度 D-sub15 ピン・メス 対応解像度 : VGA (640x480) / SVGA (800x600) / XGA (1024x768) / SXGA (1280x1024) / 480p / 720p / 1080p
	音声	デジタル	5 系統 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン)
		アナログ	1 系統 ステレオミニジャック
出力信号	映像	HDMI / DVI	2 系統 HDCP 対応 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン) 対応解像度 : VGA (640x480) / SVGA (800x600) / XGA (1024x768) / WXGA (1280x800) / SXGA (1280x1024) / WXGA+ (1440x900) / WSXGA+ (1680x1050) / WUXGA(1920x1200)* / 720p @50Hz / 720p @59.94Hz / 720p @60Hz / 1080p @50Hz / 1080p @59.94Hz / 1080p @60Hz *Reduced Blanking のみの対応
		アナログ	1 系統 RGB 信号 RGB 信号 : 0.7Vp-p / 75Ω 同期信号 : TTL レベル コネクタ : 高密度 D-sub15 ピン・メス 対応解像度 : VGA (640x480) / SVGA (800x600) / XGA (1024x768) / WXGA (1280x800) / SXGA (1280x1024) / WXGA+ (1440x900) / WSXGA+ (1680x1050) / WUXGA(1920x1200)* / 720p @50Hz / 720p @59.94Hz / 720p @60Hz / 1080p @50Hz / 1080p @59.94Hz / 1080p @60Hz *Reduced Blanking のみの対応
	音声	デジタル	2 系統 コネクタ : HDMI 端子 TypeA (19 ピン)
制御	RS-232C(注 2)	2 系統 D-sub9 ピン・オス (注 3)	
	LAN	2 系統 RJ-45 コネクタ 10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T (Auto Negotiation)、Auto MDI / MDI-X	
	USB	4 系統 A タイプコネクタ USB3.0 対応 4 系統 A タイプコネクタ USB2.0 対応 1 系統 B タイプコネクタ	
機能	描画機能	自由描画/図形描画、12 種類のポインタ形状表示、7 色の描画色、3 種類以上 (細・中・太) の線幅 タブレット(注 4)・タッチパネル・マウスで入力映像に対する描画 ※iPad アプリケーションにも対応	
	ファイル保存 / 印刷機能(注 5)	USB 保存機能	USB メモリ(注 6)に描画画像の保存、読込
		TFTP 保存機能	TFTP 経由で描画画像の保存、読込
		印刷機能	PostScript 対応プリンタに LAN 経由での印刷 保存ファイル形式 : ビットマップファイル形式 対応解像度 : VGA (640x480) ~ 1080p
その他仕様	電源電圧	DC 12 V 6 A (専用 AC アダプタ付属)	
	消費電力	約 35 W	
	外形寸法	301.625 (W) x 44.45 (H) x 187.325 (D) mm (EIA ラック高さ 1U、突起物含まず)	
	質量	1.2 kg	

	使用温度範囲	0 °C ~ +55 °C
	付属品	ACアダプタ、キーボード、ラックマウント金具

(注1) xvYCC、Lip Sync、3D、ARC、HEG、CEC および Deep Color には対応していません。

(注2) RS-232C を用いてタブレットを使用する場合は事前に動作確認を行ってください。

(注3) 本機のコマンド制御に使用できるのは1系統のみです。2系統同時のコマンド制御は対応していません。

(注4) 弊社により動作確認済のペンタブレットはワコム社製 DTH1320 / AKO および DTK-2200 / K1 になります。

その他のペンタブレットをご使用になる場合は事前に動作確認を行ってください。

(注5) HDCP で著作権保護のかかっている画像をファイル保存/印刷することは出来ません。

(注6) 描画画像を保存するUSBメモリは、FAT 16 もしくは FAT 32 でフォーマットされている必要があります。

13. 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありますか？

それでも問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。また本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。なお、故障の連絡をするときは、以下の点も事前にテストしてください。

1. すべてのコネクタで同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-
2. 本機を介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-

CPN-6000 取扱説明書

Ver.1.2.0

発行日 2019年1月18日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200 - 0764 FAX (046) 200 - 0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階
TEL (06) 6192 - 0764 FAX (06) 6192 - 0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-9-2 八百治センタービル3階
TEL (092) 431 - 0764 FAX (092) 431 - 0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>